

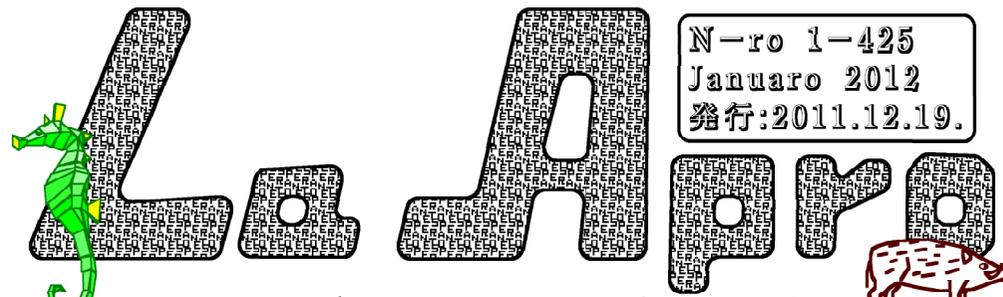
例会等の出席者(あいうえお順)

クラス 月/日 会場	輪読・会話 Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto Jan Otčenášek "Romeo, Julieta kaj la tenebro" 輪読	出席者合計
2011年 11/21(月)	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子	4
11/26(土) 駅前北1時半	俳句(冬の季語)と狂言「盆山 Miniaturu」練習 岩田好兼、大川純平、久保田百合、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子	6
12/4(日)	北摂ザメンホフ祭 箕面中央生涯学習センター 参加20名、池田6名(岩田好兼、大川純平、久保田百合、高鶴弘夫、田中一喜、島谷剛+千晶) 池田の狂言は「Miniaturu 盆山」	4
12/12(月) 駅前南2号室	高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子、"Romeo, Julieta kaj la tenebro" 12/19(月)は127ページ最終行から	3

例会予定 2011年 11月 7、14、21、26(土)北、12月 (5)、12南2号室、19、(26)
2012年 1月 (2、9)、16、23、30*、2月 6、13*、20、25(土)*←俳句!、
3月 5*、12*、19*、26*、4月 2*、9*、16*、23*、(30)、5月 7*、14*、21*、26(土)*、
6月 4*、11*、18*、25*、7月 2*、9*、(16)*、23*、30*、8月 6*、(13)*、20*、25(土)*
9月 3*、10*、(17)*、24*10月1*、(8)*、15*、22*、29*、11月5*、12*、19*、24(土)*、
12月 3*、10*、17*、(24、31)

☎毎週月曜日午後6時半～8時半、池田中央公民館2階集会室(☎072-754-6299)
☞*は未定。北・南は池田駅前北会館南会館。小さい数字はお休み(祝日など)。
3月、4月と12月は例年展示会などで公民館が使えません。

行事予定 2011年 12月4日(日)ザメンホフ祭(箕面中央学習センター)
2012年 1月21日(土) KLEG委員会 2月6日(月) 総会
2月18日(土) LaMovado発送手伝い 3月1日(木) 9時半公民館パネル搬入
3月2~4(金土日)公民館ふれあい作品展10時~5時(日曜は3時まで)
3月17日(土) KLEG委員会 3月24日(土) KLEG棚卸し 4月21日(土) KLEG委員会
6月23日~24日(土日) 第60回関西エスペラント大会(クレオ大阪東[京橋駅南])
7月28日(土)~8月4日(土) 第97回世界エスペラント大会(ベトナム・ハノイ)
8月5日~12日(日~日)国際エスペラント青年大会 奈良県天理市(天理教網干大教会)
10月6日~8日(土日祝) 第99回日本大会(札幌)
2013年 10月第100回日本大会(東京)、第7回アジア大会(イスラエル)
第98回世界エスペラント大会(アイスランド・レイキャビク)



N-ro 1-425
Januaro 2012
発行:2011.12.19.

La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA
池田エスペラント会 〒563-0021池田市畑1-2-16島谷方 振替:00930-5-34655

★Feliĉan kaj Prosperan Novjaron!

★**ザメンホフ祭盛況でした**(池田・箕面・吹田合同で、今年は吹田担当)
12月4日(日)1時半~箕面中央生涯学習センター2階講義室。会費: 無料。
池田の狂言は、盆山 Miniaturu (主: 岩田好兼, 盗人: 島谷剛),
司会: 矢吹あさる, 参加20名, 池田6名(岩田好兼, 大川純一, 久保田百合, 高鶴弘夫,
田中一喜, 島谷剛+少し千晶), 吹田5名, 豊中5名
番組: 講演「私とエスペラント」(Chen 陳建平), UK写真映像(山野敏夫),
アリアン歌唱指導(浅田和子), 野田淳子ふれあいコンサート(吹田文化祭)の録音紹介
(山野敏夫), 本の紹介: 中島敦の「La Obstino山月記」(犬伏), 「Vere aŭ fantazie」(佐野),
エスペラント朗読「裸の王様」(佐藤美優子), 三線と歌「童神」(佐藤美優子, 久保田),
田平正子さんのエスペラント・オークション
○忘年会 中華料理「翠蓮」四千元, 16名 池田5名

★日本エスペラント学会(JEI)の団体会員になりました

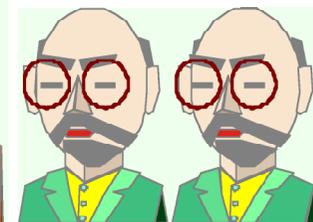
・池田エスペラント会は2012年1月から財団法人日本エスペラント学会の団体会員に。
・池田の会員は、団体所属会員としての割引で JEI の年会費が6000円になります。
JEI の会員になるよい機会かも。iPad などをおもちの方は、電子版4000円も。

Ĉu vi konas stereogramon?(122)

SIMATANI Takesi



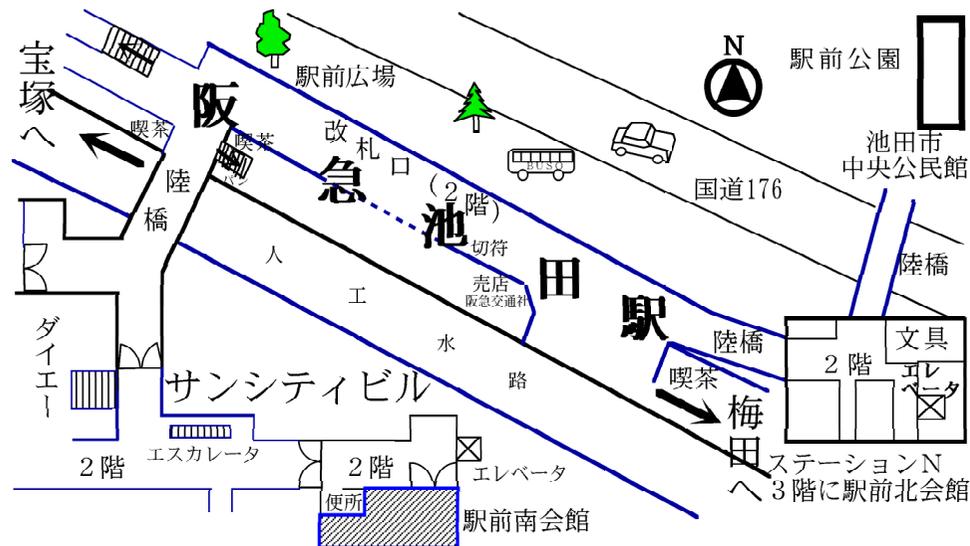
ザメンホフ?
Zamenhof ?



池田エスペラント会名簿 (2012年)

岩田好兼	658-0073	神戸市東灘区西岡本2-25-1-307	078-411-8102	イワ ヨシカ
大川純平	563-0027	池田市上池田2丁目4-11-101		オホカワ ジュンペイ
大西 肇	573-0106	枚方市長尾台1-19-18	072-858-7743	オホニシ ハジメ
加藤木みずえ	522-0074	滋賀県彦根市大東町7番10-402号	0749-26-4656	カトキ ミヅエ
川越ユリ	819-0001	福岡市西区小戸5丁目8-8-36	092-986-8178	カワコ ユリ
岐田穂波	560-0021	豊中市本町5-12-39	06-6852-7241	サキタ ホノミ
久保田百合	561-0811	豊中市若竹町2-13-14-703	06-6862-8756	クボタ ユリ
高鶴弘夫	666-0143	川西市清和台西 3-2-42	072-799-1947	タカツル ヒロオ
坂本イク子	666-0115	川西市向陽台1-3-47	072-793-3096	サカモト イクコ
島谷 剛	662-0021	池田市畑1-2-16	072-751-1752	シマヤ タツシ
田代真弓	573-0128	枚方市津田山手1-44-2	072-859-0174	タノシ マユミ
田中一喜	561-0811	豊中市若竹町2-13-14-703	06-6862-8756	タナカ イチキ
中田幸子	874-0930	別府市光町11-8	0977-23-5235	ナカタ サチコ
西尾 務	522-0074	滋賀県彦根市大東町7番10-402号	0749-26-4656	ニシオ ツトム
松田洋子※	562-0025	箕面市大字栗生外院1-16A501	072-729-7080	マツダ ヨウコ
的場祐子	665-0875	宝塚市中筋山手1-10-1	0797-80-1613	マシバ ユウコ
吉田ミナ	180-0001	武蔵野市吉祥寺北町2-3-6 G1-401	0421-22-8338	ヨシダ ミナ

□ 計17名。※印は準会員です。



春の季語 sezonaj vortoj de printempo

梅 umefloro, 椿 kamelio, 桜 êrizfloro; sakuro, 黄梅 flava(ora) jasmeno, 紫荊・花蘇芳(ハナズオウ), 山茱萸(サンシュユ) kornuso, 三椏(ミツマタ paperarbeta)の花, 辛夷(コブシ) kobus-magnolio, 連翹(レンギョウ) forsitio, 沈丁花 dafno, 海棠 kaidomaluso, ライラック lilako, 青木(aükubo)の花, 躑躅(ツツジ) azaleo; rododendro, 山査子(サンザシ kratago)の花, 木蘭(モクレン) magnolio, 藤 visterio, 山吹 kerio, 石楠花(しゃくなげ) rododendro(ヒメシヤクナゲは andromedo), 梨(piro)の花, 李(スモモ pruno)の花, 杏(アンズ abrikoto)の花, 林檎の花 poma floro, 桃の花 persika floro, 木の芽, 若緑, burĝono; ĝermo; plantido, 枸杞(クコ) licio, 柳 saliko, 金縷梅(マンサク) hamamelido, 春の筍 bambuido, 黄水仙 jonkvilo(水仙 narciso は冬の季語), 雛菊 lekanteto, 金盞花(キンセンカ) kalendulo, 勿忘草 miozoto; neforgesumino, アネモネ anemono, サイネリヤ cinerario, チューリップ tulipo, ヘリオトロープ(キダチルリソウ) heliotropo, ヒアシンズ hiacinto, オキザリス oksalido, シクラメン ciklameno, をだまき akvilegio, 菜の花 kolza floro, 豆(fabo)の花, 豌豆(エンドウ pizo)の花, 菠薐草(ホウレンソウ) spinaco, 芥菜(カラシナ) sinapo, 三葉芹 kriptotenio, 菘(ニンニク); 胡葱(アサツキ) ajlo, 浜防風 pastinako, 山葵(わさび) vasabio, 茗荷(ミョウガ)竹 miogo, 草の芽・ものの芽 ĝermo; burĝono, 堇(スミレ) violo, 紫雲英(ゲンゲ) astragalo, 苜蓿(ウマゴヤシ) medikago, 蒲公英(タンポポ) leontodo, 薺(ナズナ, kapselo)の花, 土筆(つくし) ekvizeta sporotigo(spiko), 杉菜(スギナ) ekvizeto, 桜草 primolo, 雪割草(ミスミソウ, スハマソウ) epitako, 一輪草 anemono, 酸漿(スイバ) okzalo, 蕨(ワラビ) preridio, 薔(ゼンマイ) osmundo; reĝofiliko, 芹 enanto, 野蒜(のびる) longstamena ajlo, 山吹 kerio, いぬのふぐり veroniko, 春蘭 japana cimbidio, 金鳳花(キンポウゲ) renunkolo, 一人静 printempa kloranto, 二人静 maja kloranto, 母子草(ハハコグサ) gnafalio, 薊(アザミ) kardo; cirsio, 露の臺(フキノトウ) petazita ŝoso, 蓬(ヨモギ) artemizio, 嫁菜 jomeno, 髭草(カモジグサ) agropiro; hundherbo, 片栗(eritronio)の花, 若布(ワカメ) undario, 鹿尾菜(ヒジキ) hizikio, 海雲(モヅク) nemacisto, 海苔 norio, 松露(ショウロ) rizopogono

例会等の出席者(あいうえお順)

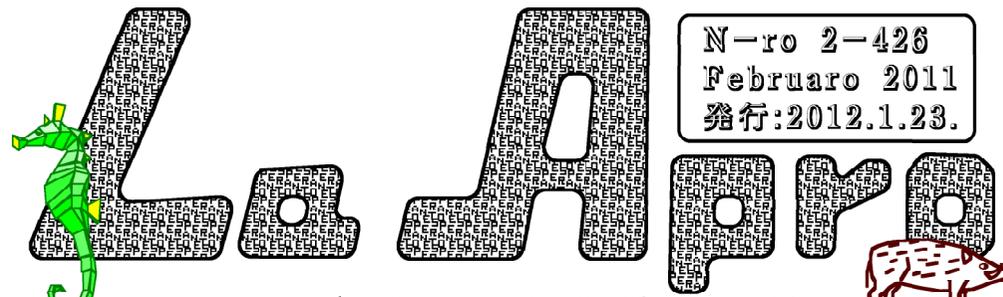
クラス	輪読・会話 Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto	出席者合計
月/日 会場	Jan Otčenášek "Romeo, Julieta kaj la tenebro" 輪読	
2011年 12/19(月)	岩田好兼、久保田百合、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子	☀ 5
1/16(月)	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子	☀ 4
1/23(月)	"Romeo, Julieta kaj la tenebro" 137ページ16行から	👤 ?

例会予定 2012年 1月 (2, 9)、16、23、30、2月 6、13*、20、25(土)*←俳句!、
3月 5*、12*、19*、26*、4月 2*、9*、16*、23*、(30)、
5月 7*、14*、21*、26(土)*、6月 4*、11*、18*、25*、7月 2*、9*、(16)*、23*、30*
8月 6*、(13)*、20*、25(土)* 9月 3*、10*、(17)*、24*10月1*、(8)*、15*、22*、29*
11月5*、12*、19*、24(土)*、12月 3*、10*、17*、(24、31)

☎毎週月曜日午後6時半～8時半、池田市中央公民館2階集会室(☎072-754-6299)
☎*は未定。北・南は池田駅前北会館南会館。小さい数字はお休み(祝日など)。👤
3月、4月と12月は例年展示会などで公民館が使えません。

行事予定 2012年 1月21日(土) KLEG委員会 2月6日(月) 総会
2月18日(土) LaMovado発送手伝い 3月1日(木) 9時半公民館パネル搬入
3月2～4(金土日) 公民館ふれあい作品展10時～5時(日曜は3時まで)
3月17日(上) KLEG委員会 3月24日(上) KLEG棚卸し 4月21日(上) KLEG委員会
6月23日～24日(土日) 第60回関西エスペラント大会(クレオ大阪東[京橋駅南])
7月28日(土)～8月4日(土) 第97回世界エスペラント大会(ベトナム・ハノイ)
10月6日～8日(土日祝) 第99回日本人会(札幌)
2013年 10月第100回日本大会(東京)、第7回アジア大会(イスラエル)
第98回世界エスペラント大会(アイスランド・レイキャビク)

川越ユリさん転居: 〒819-0001 福岡市西区小戸5丁目8-8-3 6 ☎092-986-8178



N-ro 2-426
Februaro 2011
発行:2012.1.23.

La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA
池田エスペラント会 〒563-0021池田市畑1-2-16島谷方 振替:00930-5-34655

★2月6日(月)池田エスペラント会総会

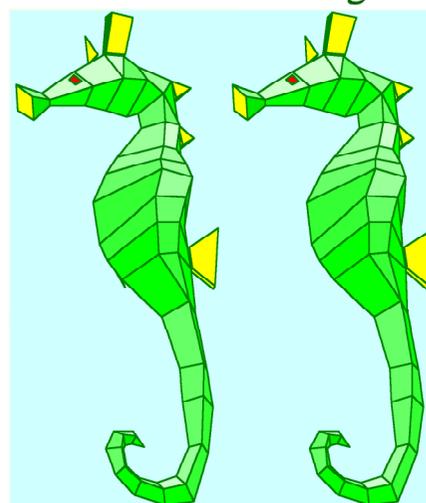
Partoprenu en la ĝenerala kunveno

2012年の池田エスペラント会総会を、2月6日(月)午後6時半から池田市中心公民館で開催します。是非ご参加ください。ご都合で欠席される方は同封の委任状はがきを1月末日までにご返送ください。ご意見や近況などもお書き添えいただくとありがたく存じます。議事は、以下のとおりです。

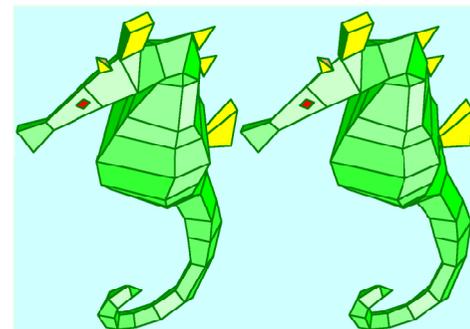
- 会計決算(久保田百合)、活動報告(島谷) ○予算(久保田百合)
- 役員改選 ○活動計画(講習会・月例会・その他)
- ◇委任やご提案は電子メール(simatani@wombat.zaq.ne.jp)もご利用を
- ◎会費納入がまだの方は、振込をよろしくごお願い致します。

Ĉu vi konas stereogramon?(123)

SIMATANI Takesi



たつ
竜の落し子
hipokampo



天福地福(てんぶくちぶく)

島谷 剛 再話

むかしむかし、あるところに、正直なおじいさんと、意地悪なおじいさんがいました。ある年の年末に、正直なおじいさんは意地悪なおじいさんに道で出会って「お正月になったら、正夢を見て教え合おうよ。」と言いました。意地悪なおじいさんも「よかろう、よかろう」と言いました。

正月三日に、二人はまた、道で出会いました。「昨晩は夢を見たかい」「ああ、見た見た。」「どんな夢を見た?」「私は天から福を授かった夢を見たよ。」と正直なおじいさんは言いました。意地悪なおじいさんは「おれは地から福を授かった夢を見たぞ。」と言いました。

何日かあとで正直なおじいさんが畑を耕していると、鍬の先が石にぶつかりました。石をどけてみるとその下に瓶があり、その中には小判がたくさん入っていました。正直おじいさんは「地から出たのだから、これは私の福じゃない。」と考えたので、意地悪なおじいさんのところへ行き、「お前さんの地福が出たよ。」と教えました。

意地悪なおじいさんは、喜んで畑へ行き、瓶を掘り出しました。ところが、瓶のふたを開けてみると、中には小判どころか蛇がウヨウヨと入っていました。意地悪なおじいさんは、だまされたと思って腹を立てました。正直なおじいさんの家に瓶を持って行き、屋根に登ると、天窓から中身をぶちまけました。

正直なおじいさんが家で、炉端でくつろいでいると、突然上から小判が降ってきました。「おや、うちにも天福が授かったよ。」と正直なおじいさんは喜びました。

La Donacoj de Ĉielo kaj de Tero

rerakontis SIMATANI Takesi

Antaŭ multaj jaroj iam kaj ie vivis Bona Avĉjo kaj Malbona Avĉjo. Antaŭ la fino de iu jaro ili renkontis sur vojo. La Bona proponis. "En la nova jaro ni diru unu al la alia, kian sonĝon ni vidis en la unua nokto." La Malbona konsentis. "Tre bone. Ni sciigu unu al la alia pri la unua sonĝo de la jaro."

La trian de januaro ili denove renkontis survoje. La Malbona Avĉjo demandis. "Ĉu vi vidis sonĝon hieraŭ nokte?" La Bona Avĉjo respondis. "Jes, mi vidis!" "Kian sonĝon?" "Mi ricevos **Donacon de Ĉielo.**" La Malbona Avĉjo diris. "Mi ja ricevos **Donacon de Tero.**"

Post kelkaj tagoj, kiam la Bona Avĉjo fosis sulkon en sia ĝardeno, lia fosilo batiĝis al ŝtono. Li formovis la ŝtonon kaj el sub ĝi aperis poto. En la poto estis multe da oraj moneroj. La Bona Avĉjo pensis. "Tio aperis de tero kaj ne estas mia propraĵo." Li iris al al Malbona Avĉjo kaj diris al li, ke aperis lia **Donaco de Tero.**

Ĝoje la Malbona Avo iris al la ĝardeno kaj elfosis la poton. El la poto aperis tamen ne oraj moneroj, sed malbelaj serpentoj. La Malbona Avĉjo kredis, ke lin trompis la Bona Avĉjo. Kun la poto li iris al la domo de la Bona Avo. Li suriris sur la tegmenton, malfermis la lukon kaj tra ĝi enĵetis en la domon tutan enhavon de la poto.

La Bona Avĉjo ripozis ĉe sia forno. Subite de supre falis oraj moneroj. "Ha, ankaŭ mi ricevis la **Donacon de Ĉielo!**" Ĝojis la Bona Avĉjo.

例会等の出席者(あいうえお順)

クラス	輪読・会話 Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto	出席者合計
月/日 会場	Jan Otčenášek "Romeo, Julieta kaj la tenebro" 輪読	
2012年 1/23(月)	高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子	3
1/30(月)	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子	4
2/6(月)	総会：岩田好兼、久保田百合、高鶴弘夫、島谷剛、 田中一喜、的場祐子	6
2/13(月) 駅前南会館	高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子 2月20日は公民館で、"Romeo, Julieta kaj la tenebro" 150ページ下から6行から	3

例会予定 2012年 2月 20、25(土)北(俳句)、
3月 5南、12*、19*、26*、
4月 2*、9*、16*、23*、(30) 5月 7、14*、21、26(土)*
6月 4、11*、18、(25)、7月 2、9*、(16)、23、30*
8月 6、(13)、20、25(土)* 9月 3、10*、(17)、24
10月1*、(8)、15*、22*、29*11月5*、12*、19*、24(土)*
12月 3*、10*、17*、(24、31)

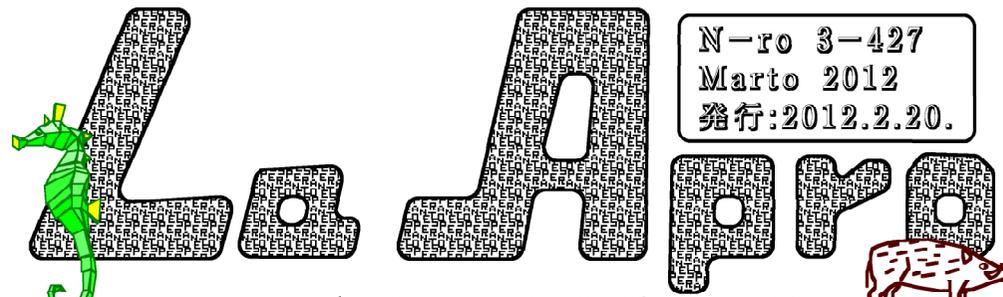
公民館ふれあい作品展当番表

三月	10時~1時半	~5時
2(金)	高鶴弘夫	
3(土)		
4(日)	-12:30	島谷 ~3時

☞ 毎週月曜日午後6時半~8時半、池田市中央公民館2階集会室(☎072-754-6299)
☞ *は未定。北・南は池田駅前北会館南会館。小さい数字はお休み(祝日など)。
3月、4月と12月は例年展示会などで公民館が使用できません。

行事予定 2012年 2月18日(土) LaMovado発送 3月1日(木) 9時半公民館パネル搬入
3月2~4(金土日) 公民館ふれあい作品展10時~5時(日曜は3時まで)
3月17日(土) KLEG委員会 3月24日(土) KLEG棚卸し 4月3日(日)~4月14日(土) 美術展
4月21日(土)KLEG委 6月23/24日(土)第60回関西エスペラント大会(クレオ大阪東[京橋])
7月28日(土)~8月4日(土) 第97回世界エスペラント大会(ベトナム・ハノイ)
10月6日~8日(土日祝) 第99回日本大会(札幌)
2013年 10月第100回日本大会(東京)、第7回アジア大会(イスラエル)
第98回世界エスペラント大会(アイスランド・レイキャビク)

総会報告: 2月6日、参加6名。活動報告(島谷剛)。決算・予算(久保田百合)。
○月例会(俳句など)の他、豊中・吹田に呼びかけて、遠足・合宿などを検討する。
○会員の減少・現役世代の多忙化を踏まえて、来年以降の課題として、昼の例会・講習会を検討する。○北摂合同で遠足・合宿できないか。他ロンドと連携を。
○輪読の予定 "Romeo..." → "La planoj de Bruce Partington" → "Vere aŭ fantazie"
○2013年1月から公民館が建て替えに入ります(2012年12月までは使用可)
★委任: 大川純平「Mi legis "Romeo, Julieta kaj la tenebro".」,
田代真弓「娘ももう2年生なのに、まだ毎日バタバタしています。届いたばかりのLa Movadoを開いたら、岸田さんの追悼ページがあってビックリ!!私も『兵戈無用』のTシャツを見て、意味を教えてくださいました。」



N-ro 3-427
Marto 2012
発行:2012.2.20.

La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA
池田エスペラント会 〒563-0021池田市畑1-2-16島谷方 振替:00930-5-34655

★春の季語でエスペラント俳句の会

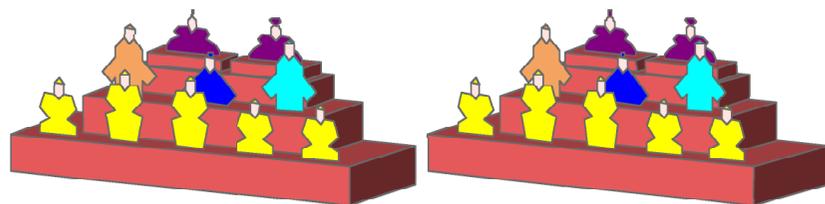
2月25日(土)1時半~池田駅前北会館(駅東北東。ステーションN3階。南ではないです)エスペラント俳句を作って La Movadoへ投稿しましょう。会員外の参加歓迎

春の季語追加: かざぐるま ventorado, ぶらんこ trapezo, 蜃気楼 mirago,
流水 flosglacio, 雪崩 lavango, シャボン玉 sapveziko, 雲雀 alaŭdo, レタス laktuko

- 2011年11月26日(土)の句会は参加6名。La Movado 2月号採用以外の句を紹介します
- 岩田好兼(俳号: Joŝi): Mi paŝas sola sur velkintaj folioj — Suno subiras.
Ekstere neĝas. Mi dronas en legado apud kamero.
 - 大川純平(Junpe): Ve, malvarmege. Mi volus esti ene vintrodormante.
 - 久保田百合(俳号: Yuri): 干し柿3つ 日光浴びて 軒先かざる
Tri persimonoj ricevas sunan lumon sub la alero.
 - 高鶴弘夫(Gruo): Severa vintro — Estas formata kruco de la flugspuro.
Malvarma tago — Estas strekata kvaro de la flugspuro.
 - 的場祐子(Yuko): 発表なし。
 - 島谷剛(Takesi): Neĝnuboj densaj montaron faris blanka—Vento blovanta
En frosta ĝarden' floras eriobotri' — Birdetoj en tril'
Foliojn velkajn flirtantajn vento kirlas — Flueto lirlas

Ĉu vi konas stereogramon?(124)

SIMATANI Takesi



ひな
人形
pupoj
sur
etaĝoj

池田エスペラント会2011年活動報告

2012年2月6日総会

<総括>

例会の平均出席人数は4.10人(2010年は4.85人)で減少している。永井明子、永井裕之、山本壽一が退会し、年末の会員は17名(正会員16,準会員1): 岩田好兼、大川純平、大西肇、加藤木みずえ、川越ユリ、岐田穂波、久保田百合、高鶴弘夫、坂本イク子、島谷剛、田代真弓、田中一喜、中田幸子、西尾務、松田洋子(準会員)、的場祐子、吉田ミナ(敬称略。以下同様)

2011年は無料講習会を5月9日(月)と11月7日(月)に実施した。5月のみ1名参加。会員数は減少傾向。例会出席者数もかなり減った。

エスペラント訳狂言は、関西大会で「Kawakami 川上座頭」、ザメンホフ祭で「Miniaturu 盆山」を演じた。

田中一喜、久保田百合が林間学校を準備するなど、諸行事で会員が活躍した。公民館ふれあい作品展(3月)、池田文化デー(11月)にパネルを展示した。

機関誌La Aproは島谷編集で毎月発行した。

月例会は2月26日(土)、5月28日(土)、8月28日(日)、11月26日(土) 春夏秋冬の季語で俳句、狂言「Kawakami 川上座頭」「Miniaturu 盆山」、Vortomozaiko

大阪府立池田北高校3年生選択科目「国際理解」で8名がエスペラント授業を受けた。担当は藤本律子さん(宝塚エスペラント会)

KLEG委員会(曾根KLEG事務所午後3時半から5時半;島谷,田中;1月16日,3月19日,4月16日,5月15日[日曜日午後1時半~5時,豊中公民館, 社団法人総会],7月16日,9月10日,11月19日)

<例会>

毎週月曜日、午後6時半~8時半、輪読・会話。池田中央公民館。3月,4月,12月等は池田駅前南会館(2月26日, 3月14日, 4月4日, 18日, 5月28日(土), 8月28日(土),12月12日), 池田駅前北会館(3月7日, 28日, 4月11日, 25日, 11月26日(土))。

公民館有料分(5月23日, 6月27日#, 7月25日#, 9月26日#, 10月24日,31日, 11月14日)500円。#印は冷暖房付きで750円)

輪読: ネメレ『Amparolo』→3月7日から『Romeo, Julieta kaj la tenebro』回数42回。のべ168人参加。平均4.10人

月	回数	平均	月	回数	平均	月	回数	平均	月	回数	平均
1	3	3.3	4	4	4.0	7	3	3.3	10	4	4.0
2	4	4.0	5	4	4.5	8	3	4.7	11	4	4.5
3	4	3.7	6	3	3.0	9	4	4.0	12	3	4.7

個人別出席回数(敬称略-他の部分も。木村英二は神戸E会から。坂上は無料講習会)

氏名	回数	氏名	回数	氏名	回数
島谷剛	42	岩田好兼	31	田中一喜	2
高鶴弘夫	40	久保田	7	木村英二	1
的場祐子	39	大川純平	5	坂上	1

この他に、準備作業や行事にのみ参加した会員もある。

<主な活動>

2011年 1月22日(土) KLEG委員会(その後有志で新年会)

2月7日(月) 池田エスペラント会総会(岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、田中一喜)

役員留任。会長・広報: 島谷剛, 会計: 久保田百合, 企画: 岩田好兼, KLEG委員: 田中一喜, 島谷剛,

2月26日(土) 池田エスペラント会月例会(春の季語で俳句とVortoMozaiko, 駅前南会館, 参加: 岩田好兼, 大川純平, 高鶴弘夫, 久保田百合, 島谷剛, 的場祐子)

3月3日(木) 公民館パネル搬入(島谷)

3月4~6(金土日)公民館ふれあい作品展10時~5時(当番: 高鶴, 島谷)

3月19日(土) KLEG委員会 26日(土) KLEG棚卸し

4月10~16日(日~土) 美術展(当番: 12日高鶴, 16日島谷)

4月16日(土) KLEG委員会

5月3日(火)~5日(木) 第44回エスペラントセミナーオ(札幌市)

5月9日(月)「国際語エスペラント一日体験」, 無料, 池田市広報掲載, 1名参加

5月15日(日) KLEG委員会と社団法人総会(曾根駅前の豊中市中央公民館)

5月28日(土) 駅前南1時半池田エスペラント会月例会(夏の季語で俳句, 狂言川上地蔵, 参加 5名: 岩田好兼, 大川純平, 高鶴弘夫, 島谷 剛, 的場祐子)

6月18日~19日(土日) 第59回関西エスペラント大会(神戸市立生田文化会館),

18日夕 池田の狂言「川上地蔵」(盲人: 島谷剛, 妻: 岩田好兼), 池田の参加者: 岩田好兼, 島谷剛, 田中一喜, 的場裕子, 大川純平, 西尾務, 不在: 加藤木みずえ, 田代真弓, 野田淳子さんコンサート「死んだ男の残したものは」「大きな歌」「里の秋」「時を超えて」, 大会記念品: 寺島俊徳論文集『エスペラントと平和の条件-相互理解と言語民主主義』

7月16日(土) KLEG委員会

7月23~30(土~土) 第96回世界エスペラント大会(デンマーク・コペンハーゲン)

8月27日(土) 10時IKEDA文化DAY 説明会(コミュニティーセンター2階)

8月28日(日)駅前南1時半池田エスペラント会月例会(秋の季語で俳句, Vortomozaiko), 参加6名: 岩田好兼, 大川純平, 久保田百合, 高鶴弘夫, 島谷 剛, 的場祐子)

9月10日(土) KLEG委員会

9月24日(土) 10時IKEDA文化DAY 第2回説明会(コミュニティーセンター2階)

9月17日(土)~19日(月祝) 第43回林間学校(エスペラント会館[京都市下京区], 42名組織委員に田中一喜, 久保田百合)

10月7日~9日(金土日) 第98回日本大会(ソウル近郊城南市で第43回韓国大会と合同)

11月2日(水)IKEDA文化DAYの展示パネル搬入(島谷千晶)

11月3日~6日(祝~日) IKEDA文化DAY(コミュニティーセンター2階でB2パネル6枚展示)

11月7日(月)『国際語エスペラント無料講習会』(池田市中央公民館, 6時半)

11月19日(土) KLEG委員会

11月26日(土) 駅前北1時半池田エスペラント会月例会(冬の季語で俳句, 狂言盆山, Vortomozaiko, 参加6名: 岩田好兼, 大川純平, 久保田百合, 高鶴弘夫, 島谷剛, 的場祐子)

12月4日(日)ザメンホフ祭(吹田担当, 1時半から5時, 箕面中央生涯学習センター), 会費無料, 池田狂言「盆Miniaturu」(主: 岩田好兼, 盗人: 島谷剛, 司会: 矢吹あさる, 参加20名, 池田6名(岩田好兼, 大川純一, 久保田百合, 高鶴弘夫, 田中一喜, 島谷剛), 吹田5名(佐藤守男, 佐藤ふう子, 大畑賀代子(図書), 犬伏, 矢吹あさる), 豊中5名(三沢一弘, 佐野寛, 佐野伸子, 山野敏夫, 近藤ハマ), その他: 浅田和子(宝塚), Chen(陳建平, ハルビン出身中国語講師), 田平正子(京都)+島谷千晶,

番組: 「私とエス

ペラント」(Chen),

世界大会映像(山野),

アリアン歌唱(浅田),

吹田文化祭の野田

淳子コンサートの

紹介(山野敏夫),

本の紹介: 中島敦の

“La Obstino山月記”

(犬伏),

“Vere aŭ fantazie”

(佐野),

朗読「裸の王様」

(佐藤芙優子), 三線

と歌「童神」

(佐藤・久保田百合),

オークション(田平)

○忘年会 中華料理

「翠蓮」四千元,

16名 池田5名(岩田,

田中, 久保田, 高鶴,

島谷)

会計報告	2010年		2011年	
	決算	予算	決算	予算
収入				
会費	111,000	114,000*1	96,000*3	84,000
講習会	0	15,000	0	15,000
本売上	525	6,000	497	1,000
寄付金	0	0	0	0
利子	154	0	77	0
雑収入(Z祭還元他)	1,541	0	0	0
合計	113,220	135,000	96,574	100,000
支出				
KLEG会費	60,000	60,000*2	60,330*4	45,500
JEI会費	6,400	6,400	2,000	2,000
講習会	0	15,000	0	6,000
Apro発行	1,396	5,000	1,482	2,000
通信費	14,697	20,000	11,845	15,000
会場費	20,750	20,000	24,750	25,000
雑費(茶菓子他)	6,161	8,600	4,353	4,500
合計	109,404	135,000	104,760	100,000
*1 会費収入	6,000円×15人+3000円×2人(準会員1, 青年会員1)			
*2 KLEG会費	250円×12カ月×20人+振込手数料330円			
*3 会費収入	6,000円×13人+3,000円×2人(準会員1, 青年会員1)			
*4 KLEG会費	250円×1カ月×17人(16人+ER11)+250円×1 1カ月×15人(14人+ER11)			

例会等の出席者(あいうえお順)

クラス	輪読・会話 Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto	出席者合計
月/日 会場	Jan Otčenášek "Romeo, Julieta kaj la tenebro" 輪読	
2012年 2/20(月)	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子	☀ 4
2/25(土) 駅前北1時半	俳句(春の季語)とVortomozaiko 岩田好兼、大川純平、島谷剛、的場祐子	☂ 4
3/5(月) 駅前南会館	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子	☂ 4
3/12(月) 駅前北会館	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子 3月19日は駅前南で "Romeo, Julieta kaj la tenebro" 162ページ17行目から	☀ 4

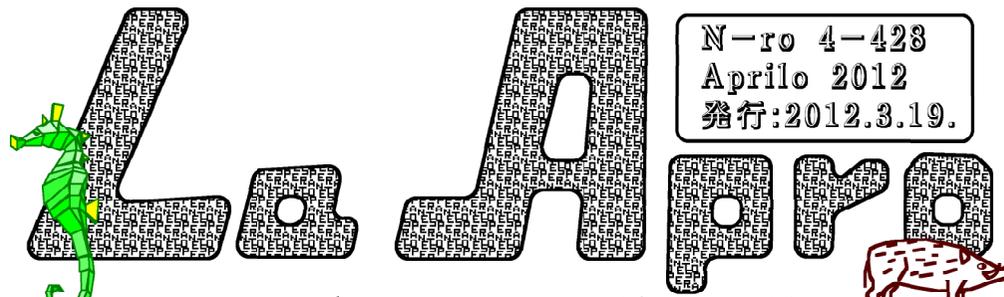
例会予定 2012年 3月 5南、12北、19南、26北、4月 2*、9*、16*、23*、(30)
5月 7、14*、21、26(土)* 6月 4、11*、18、(25)、
7月 2、9*、(16)、23、30* 8月 6、(13)、20、25(土)* 9月 3、10*、(17)、24
10月1*、(8)、15*、22*、29*11月5*、12*、19*、24(土)*12月3*、10*、17*(24、31)
☞毎週月曜日午後6時半～8時半、池田市中央公民館2階集会室(☎072-754-6299)
☞*・は未定。北・南は池田駅前北会館南会館。小さい数字はお休み(祝日など)。☞
3月、4月と12月は例年展示会などで公民館が使えません。

美術展当番	4月8(日)	9(月)	10(火)	11(水)	12(木)	13(金)	14(土)
10時～1時半			高鶴				1～3時
1時半～5時	島谷						

行事予定 2012年 3月17日(土) KLEG委員会 3月24日(土) KLEG棚卸し
4月8日(日)～4月14日(土) 美術展 4月21日(土)KLEG委
6月23日24日(土日)第60回関西エスペラント大会(クレオ大阪東[京橋])
7月28日(土)～8月4日(土) 第97回世界エスペラント大会(ベトナム・ハノイ)
8月5日(日)～8月11日(土) 第68回世界青年エスペラント大会(ベトナム・ハノイ)
10月6日～8日(土日祝) 第99回日本大会(札幌)
2013年 10月第100回日本大会(東京)、第7回アジア大会(イスラエル)
第98回世界エスペラント大会(アイスランド・レイキャピク)

Al vi eksteren org. popolkanto de Nagasako, trad. SIMATANI Takesi

Al vi eksteren irus mi volonte でん出らりゅうば 出てくるばってん
 Sed mi ne irus vin renkonte でん出られんけん 出て来んけん
 Ĉar mi ne povas, al vi mi ne iras, こん来られんけん 来られられんけん
 al vi! 来ん 来ん



La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA
 池田エスペラント会 〒563-0021池田市畑1-2-16島谷方 振替:00930-5-34655

★4月からLa planoj de Bruce Partington輪読

(Arthur Conan Doyle 著, Michael Lennartz 訳, 2011年, 36頁, 750円?)
 4月からコナン・ドイルの短編 "La Planoj de Bruce Partington" を読みます。すぐに読了になるので、その次の輪読は、Clude Pironの "Vere aŭ fantazie" を予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。会員外の参加も歓迎(PDFが <http://claudepiron.free.fr/livres.htm> に)

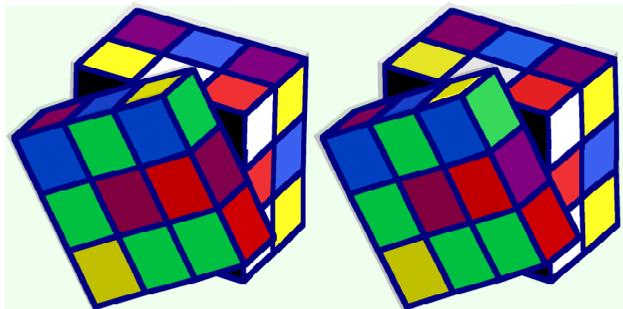
- ★数年前にエスペラントの動画サイトを開設(そして挫折)した Flavio Rebeloさんが、新ニュースサイト "Nunonia" を始めました (<http://nunonia.com/>)
- ★Googleの自動翻訳にエスペラント。まだ変な訳ですが。



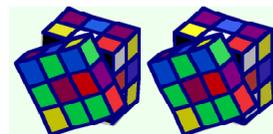
青字は手で修正
 元は… Ikeda
 esperanto
 asocio estas
 malfermita
 de lundo studo
 kunsido en la
 komunuma
 centro antaŭ
 la stacidomo
 Ikeda.

Ĉu vi konas stereogramon?(125)

SIMATANI Takesi



ルービック
 キューブ
 Rubika kubo



Al vi eksteren でんでらりゅうば org. popolkanto de Nagasaki trad. SIMATANI Takesi

La planoj de Bruce Partington 輪読の友

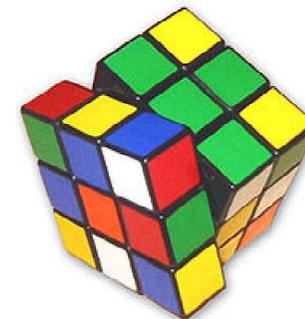
(Arthur Conan Doyle 著, Michael Lennartz 訳, 2011年, 36頁, 750円) 2012年 島谷剛

○ロンドンの地下鉄線路で造兵廠の役人の死体が発見された。ポケットの中には、持ち出された軍事機密のブレス・パーティントン型潜水艦の設計書10枚の内の7枚があったが、もっとも重要な3枚の設計書はなくなっていた。

- p.5 Baker-strato ベーカー街, Sherlock Holmes シャーロック・ホームズ, Watson ワトソン医師, kruc-referencado 相互参照=索引,
- p.6 Mycroft マイクロフト(シャーロックの兄), Pall-Mall-loĝejo ペル・メル街の住居, klubo de Diogeno ディオゲネスクラブ, Whitehall-strato ホワイトホール街, Arthur Cadgan West アーサー・カドガン・ウエスト(造兵廠の役人),
- p.8 Woolwich-a Armilejo ウーリッジ造兵廠(ケント州), Violet Westbury ヴァイオレット・ウエストベリー嬢(West の婚約者), Aldgate-stacio オールドゲイト駅, Willesden駅 ウィルズデン駅,
- p.9 Lestrade de Scotland Yard スコットランドヤードのレストレード警部, Aktuala stato de Siamo シヤム国の現状(1895年当時, 周辺の国々を植民地にしたイギリスとフランスがタイ王国をはさんで対峙していた),
- p.10 Admiralejo 海軍省, sekura ŝranko 金庫,
- p.11 siro James Walter サー・ジェイムズ・ウォルター(保管責任者), dekoracio勲章, domo de admiralo Sinclair ŝe Barclay-placoバークレイスクエアのシンクレア提督邸
- p.12 kolonelo Valentine Walter ヴァレンタイン・ウォルター大佐(保管責任者の弟), Sidney Johnson シドニー・ジョンソン(主任技師), labora hipotezo 作業仮説,
- p.13 itinero 行程(道筋), de-ir-punkto 出発点, objekto 反証・反論,
- p.15 trakforko 分岐点・ポイント, p.17 Thames-rivero テームズ河,
- p.22 ŝutro シャッター,
- p.24 Adolph Mayerアドルフ・マイヤー, Louis La Rothiereルイ・ラ・ロティエール, Hugo Oberstein フーゴ・オーバーシュタイン, biografo 伝記作家,
- p.25 Goldini ゴルディニ, kuracoo キュラソー (オレンジの皮のリキュール),
- p.30 monografio 専攻論文, p.31 motetoj de Lassus ラッススの聖歌曲

Kubo de Rubik

El Vikipedio



Kubo de Rubik (aŭ Rubik-kubo, Rubik-a kubo), ofte magia kubo estas [patentita](#) mekanika paciencoludo, kiun eltrovis la hungara [RUBIK Ernő](#) kaj kiu populariĝis kaj disvastiĝis en la [1980-aj jaroj](#).

Temas pri [kubo](#), kiu estas dividita laŭ alto, larĝo kaj profundo je tri ebenajoj kiuj estas laŭplaĉe turniĝeblaj en 90-grada paŝo ĉirkaŭ akso. Tie la pozicioj kaj la situoj de la diversaj eroj ŝanĝiĝas preskaŭ laŭvole. La eksteraj videblaj surfacoj de la eroj estas kolorigitaj. En la baza pozicio, la kubo havas sur la ses flankoj ses diversajn kolorojn.

La celo estas, reakiri la bazan unuecan pozicion, kiam ĉiu flanko havas unuecajn kolorojn. Tio okazas el miksitaj kolorflanka kubo per turno ĉirkaŭ la tri aksoj.

Al la laikoj ŝajnas tio tre malfacila tasko, preskaŭ ne eblas, sed oni jam ellaboris solvajn strategiojn, tralegante kelkaj metodoj, kiuj ebligas relative facilan kaj rapidan solvon de la tasko, eĉ eblas rearanĝi la kubon 3×3×3, dum malpli ol 30 sekundoj.

Kubo en okcidento

En decembro de [1977](#), la firmao Pentangle ricevas ekzempleron de magia kubo. La firmao akiras rajton por vendado de kubo en Britio. La komunisma registaro do vendas en [1979](#) la tutmondan vendorajton pri la kubo al al usona firmao "Ideal Toy Corporation". Tiu rajto enhavis rajton por vendado en Britio (kontraŭkontrakte) kaj la firmao Ideal Toy Corporation permesis por Pentangle nuran vendadon de la kubo al donac- kaj ne al ludil-vendejoj.

En la [1981](#) la kubofrenezaĵo atingis pintumon. Ideal Toy Corporation ne kapablis plenumi la bezonojn kaj permesis aperon de la malmultekostaj aziaj post-produktoj sur la merkato. Oni vendis nur ĝis la pinto ĉ. 260 milionojn da kubo.

Poste aperis diversaj aliaj kubo, ludiloj kun simila lud-mekanismo. Do, ili estas konataj per:

- 2×2×2 la plej eta kaj facila
- 3×3×3 la plej fama kaj unua
- 4×4×4
- 5×5×5
- 8×4×8
- ktp.

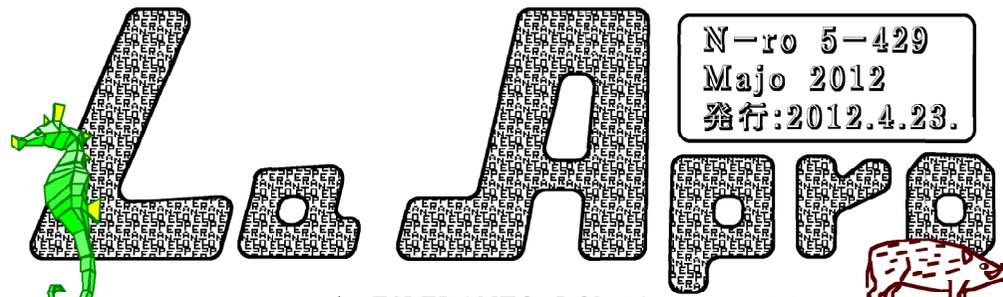
例会等の出席者(あいうえお順)

クラス	輪読・会話 Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto	出席者合計
月/日 会場	Jan Otčenášek "Romeo, Julieta kaj la tenebro" 輪読	
2012年 3/19(月) 駅前南会館	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子	 4
3/26(月) 駅前北会館	久保田百合、高鶴弘夫、島谷剛	 3
4/2(月) 駅前南会館	岩田好兼、久保田百合、高鶴弘夫、島谷剛	 4
4/9(月) 駅前北会館	高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子	 3
4/16(月) 駅前南会館 2号室	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子 4月23日は駅前北で "La Planoj de Bruce Partington" 14ページ下から10行目から	 4

例会予定 2012年4月23北、(30)、5月7、14*、21、26(土)*、6月4、11*、18、(25)
7月2、9*、(16)、23、30*8月6、(13)、20、25(土)*9月3、10*、(17)、24
10月1*、(8)、15*、22*、29*、11月5*、12*、19*、24(土)*12月3*、10*、17*(24、31)

☎ 毎週月曜日午後6時半～8時半、池田市中央公民館2階集会室(☎072-754-6299)
☞ *は未定。北・南は池田駅前北会館南会館。小さい数字はお休み(祝日など)。
3月、4月と12月は例年展示会などで公民館が使えません。

行事予定 2012年 4月8～14(日～土) 美術展当番(10日高鶴、8日1時半島谷)
4月21日(土) KLEG委員会 5月21日(日)豊中公民館KLEG委と総会
6月16日(土)池田発送当番 23日～24日(土日)第60回関西大会(クレオ大阪東[京橋駅南])
7月21日(土) KLEG委員会 28日(土)～8月4日(土) 第97回世界エスペラント大会(ハノイ)
8月5日(日)～8月11日(土) 第68回世界青年エスペラント大会(ベトナム・ハノイ)
9月1日(土) KLEG委員会
9月15日～17日(土日祝)第44回林間学校(善き牧者修道院[豊中市]、全日2万円、
講師: Songanta(韓国)、タニヒロユキ、沖恵明、川西徹朗、分科会は聖書・運動・校正)
10月6日～8日(土日祝) 第99回日本大会(札幌) 11月17日(土) KLEG委員会
2013年 1月19日(土) KLEG委員会 3月16日(土) KLEG委員会 3月23日(土) KLEG棚卸し
4月20日(土) KLEG委員会 6月 第61回関西エスペラント大会(和歌山)
10月第100回日本人会(東京)、第7回アジア人会(イスラエル)
第98回世界エスペラント大会(アイスランド・レイキャビク)



N-ro 5-429
Majo 2012
発行:2012.4.23.

La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA
池田エスペラント会 〒563-0021池田市畑1-2-16島谷方 振替:00930-5-34655

★La planoj de Bruce Partington 輪読

(Arthur Conan Doyle 著, Michael Lennartz 訳, 2011年, 36頁, 750円?)
4月からコナン・ドイルの短編 "La Planoj de Bruce Partington" を
読んでいます。短編なので、7月ごろからの輪読は Claude Piron の
"Vere aŭ fantazie" を予定しています。皆様のご参加をお待ちしてい
ます。会員外の参加も歓迎(PDFが <http://claudepiron.free.fr/livres.htm> にあります)

★第60回関西エスペラント大会

6月23～24(土日)クレオ大阪東[京橋駅南]

★第97回世界エスペラント大会

7月28～8月4日(土～土) ベトナム・ハノイ

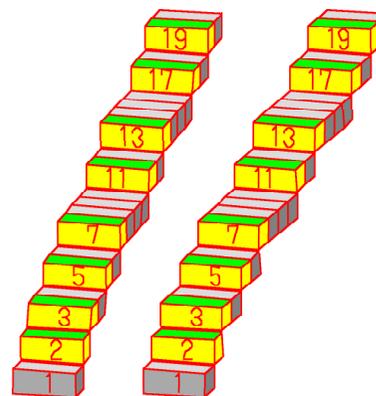
★俳句の会(夏の季語←3頁参照)5月26日(土)か27日(日)駅前

★第43回林間学校

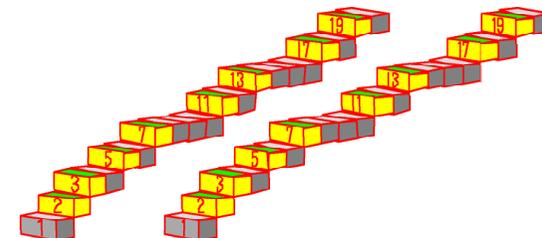
9月15日(土)～17日(月祝) 善き牧者豊中修道院

Ĉu vi konas stereogramon?(126)

SIMATANI Takesi



素数階段
Prima Ŝtuparo



Oryzias latipes(japana rizfiŝo) El Vikipedio

Oryzias latipes aŭ japana rizfiŝo (japane: Medaka) estas la plej malgranda nesalakva fiŝo en Japanio.

Similaj specioj troviĝas en Orienta kaj Sudorienta Azio.

Ĝi iam estis treege populara fiŝeto en japanaj riveretoj, rizkampoj ktp.

Sed ĝi enlistiĝis kiel minacata specio (VU) en la Ruĝa Listo publikigita en 1992 de Buroo pri Medioj (nun Ministrejo pri Medioj) de Japanio.

Japana nomo Medaka (メダカ, 目高 = okulo-alto) devenas de ĝiaj grandaj okuloj supren eliĝintaj. Ĝia scienca nomo "Oryzias latipes" signifas "vastpieda(naĝila) fiŝo ĉirakŭ rizoj)".

●Grandeco— 4 cm.

●Koloro— Griza kun iom da malhel-bruneco. Sed ekzistas alikoloraj mutacioj.

●Vivlongeco— 1-2 jaroj en natura medio. Sed ĝi sub homa zorgado multe pli longe vivas. 4-5 jara vivlongeco estas raportita.

Elsutita el "http://eo.wikipedia.org/wiki/Oryzias_latipes"



Biologia klasado

Regno: [Animaloj](#)
Filumo: [Ĥorduloj](#)
Klaso: [Aktinopterigoj](#)
Ordo: Beloniformes
Familio: Adrianichthyidae
Subfamilio: Oryziinae
Genro: Oryzias
Specio: O. latipes

夏の季語 sezonaj vortoj de somero

5月末に句会の予定です。会員外も歓迎。メールや手紙でも参加可

立夏komenco de somero, さつきmajo, メーデーmaja tago, 水無月junio, 文月julio, 初夏frua somero, 麦の秋maturas tritiko, 短夜みじかよmallonga nokto, 梅雨pluva sezono, 五月雨さみだれmaja pluvo, 青嵐あおらし somera ŝtormo, 白夜blankaj noktoj, 夏至somera solstico, 雲の峰(入道雲) kumulonimbuso, 雷fulmo kaj tondro, 夕立subita (forta) pluvo, kaprica pluvo, pluva duŝo, 虹ĉielarko, 滝akvofalo, 涼しいfriska, 熱帯夜tropika nokto, 夕焼けvesperuĝo, 子供の日tago de knabo(kvina de marto), 鯉のぼりvento-karpo, 柏もちmoĉio kun faga folio, 菖蒲湯bano kun akorfolioj, 母の日tago de la patrino, 祭りsomera festo, 草笛sirinkso, ナイターnokta basballudo, 田植えplantado de rizidoj, 父の日tago de la patro, 海の家budo ĉe banejo, ハンモックhamako, キャンプkampadi, tendumi, 汗ŝvito, ハンカチnasztuko, poŝtuko, 行水sinlavo en pelvego, bano en nevarma akvo, シャワーduŝo, アイスクリームglaciaĵo, 麦茶infuzaĵo el hordeo, サイダーlimonado, 扇風機 ventumilo, 風鈴ventotintilo, 水遊びludi apud akvo, 水鉄砲akvopafililo, 水中花 akvofloro, プールnaĝbaseno, 海水浴marbano, 夏休みsomera ferio, libertempo, 線香花火artofajra bastoneto, 花火artofajro, 金魚orfiŝo, かたつむりheliko, 雨蛙hilo, verda rano, 螢lampiro, 目高orizio, 蠅muŝo, 蜘蛛araneo, 蟻formiko, 蚊kulo, moskito, 蜥蜴lacerto, 熱帯魚tropika fiŝo, 天道虫kokcinelo, かぶと虫 skarabo, 毛虫raŭpo, 蟬cikado, 若葉juna folio, 青葉verdaj folioj, 夏草someraj herboj, 竹の子 bambuido, 牡丹 peonio, カーネーションdianto, kariofildianto, ひなげし papaveto, granrozo, 薔薇rozo, 花菖蒲japana irido, 紫陽花hortensio, 鈴蘭konvalo, 桜桃ĉerizarbo, 昼顔kalistegio, サルビアsalvio, 向日葵helianto, sunfloro, 百日紅さるすべりlagerstromo, 百合lilio, 月見草enotero, 睡蓮nimfeo, 蓮lotuso, トマトtomato, いちごfrago, 青りんごverda pomo, 氷河glaciejo / glaĉero, 泉/清水fonto, 青田rizkampo nematura, 林間学校, libertempa arbara lernejo / somera tendaro, 登山grimpi monton, 幽霊fantomo, 川床(ゆか)friska balkono super rivero, ヨットjakto, 夜店nokta foiro, 帰省veni hejmen, 蝙蝠(コウモリ)vesperto, 青鷺(アオサギ)ardeo, クイナAkvoralo/krekso/ralo, 守宮(ヤモリ)geko, アイスコーヒーglacikafo

2012年2月25日(土)の句会(池田駅前北会館1時半~)

La Movado 5月号(4月発行)に採用されなかった俳句を紹介します。

○ 岩田好兼(俳号: Joŝi):

Salikoj flirtas. Virino en kimono iras lantpaŝe.

Kata koncerto brue sonas ĉirkaŭe. Paŝas Sireno.

○ 大川純平(俳号: Ĵunpe):

Salitaj ĉipsoj kaj noriitaj ĉipsoj apetitigoj.

○ 的場祐子(Yuko): 参加のみ

○ 島谷 剛(俳号: Takesi):

Sapvezikoj for, forflugis en lazuron trans altan muron

Alflosis borden blankaj glacioj nordaj — Marbirdoj mornaj

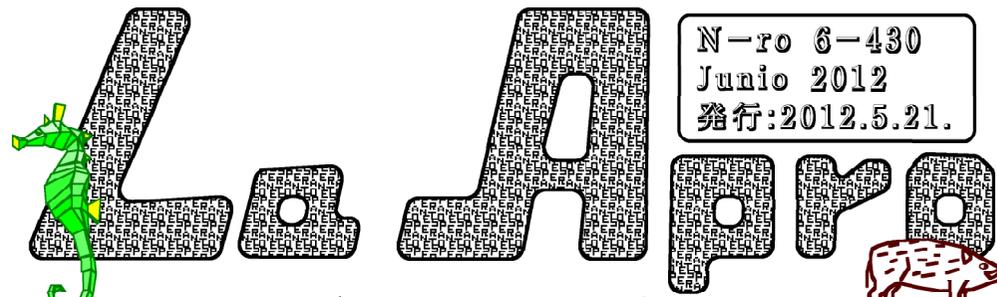
Pepas en aero tuj sub la Paradizo alaŭdo griza

例会等の出席者(あいうえお順)

クラス 月/日 会場	輪読・会話 Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto Arthur Conan Doyle の "La Planoj de Bruce Partington" 輪読	出席者合計
2012年 4/23(月) 駅前北会館	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛	☀ 3
5/7(月) 公民館	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子	☀ 3
5/14(月) 公民館学習室	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子	☀ 4
5/21(月) 公民館	Ringa suna eklipso en la mateno. "La Planoj de Bruce Partington" 25ページ19行目から	🧐 ?

例会予定 2012年 5月 21、26(土)南2号室 6月 4、11*、18、(25)
7月2、9*、(16)23、30* 8月6、(13)20、25(土)*9月 3、10*、(17)24
10月1*、(8)15*、22*、29*、11月5*、12*、19*、24(上)* 12月3*、10*、17*(24、31)
☞毎週月曜日午後6時半～8時半、池田市中央公民館2階集会室(☎072-754-6299)
☞*は未定。北・南は池田駅前北会館南会館。小さい数字はお休み(祝日など)。💡
3月、4月と12月は例年展示会などで公民館が使えません。

行事予定 2012年 5月20日(日) 豊中公民館1時半KLEG委員会のち総会 21日 日食
5月26(土) 駅前南会館2号室午後1時半月例会(夏の季語で俳句)
6月16日(土)池田発送当番 23日～24日(土日)第60回関西大会(クレオ大阪東[京橋駅南])
7月21日(土) KLEG委員会 28日(土)～8月4日(土)第97回世界エスペラント大会(ハノイ)
8月5日(日)～8月11日(土) 第68回世界青年エスペラント大会(ベトナム・ハノイ)
9月1日(土) KLEG委員会
9月15日～17日(土日祝)第44回林間学校(善き牧者修道院[豊中市]、全日2万円、講師:
Songanta(韓国)、タニヒロユキ、沖恵明、川西徹朗、分科会は聖書・運動・校正)
10月6日～8日(土日祝) 第99回日本大会(札幌) 11月17日(土) KLEG委員会
中央公民館建替: 最終日12月3日(月)、工事: 2013年1月～2014年3月、再開: 2014年4月
2013年 1月19日(土) KLEG委員会 3月16日(土) KLEG委員会
3月30日(土)KLEG棚卸し 4月20日(土) KLEG委員会
6月25日～26日(土日) 第61回関西エスペラント大会(和歌山市民会館市民ホール)
10月第100回日本大会(東京)、第7回アジア大会(イスラエル)
第98回世界エスペラント大会(アイスランド・レイキャビク)



La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA
池田エスペラント会 〒563-0021池田市畑1-2-16島谷方 振替:00930-5-34655

★夏の季語でエスペラント俳句の会

5月26日(土) 1時半～。池田駅前南会館。

○エスペラント俳句を作って La Movado へ投稿しましょう。5・7・5 音節で、夏の季語(3頁に再掲)を入れて。参加費無料。夜の例会は無理という皆様の参加を期待しています。会員外も歓迎。

★第60回関西エスペラント大会

6月23～24(土日)クレオ大阪東[京橋駅南]

★第97回世界エスペラント大会

7月28～8月4日(土～土) ベトナム・ハノイ

★第43回林間学校

9月15日(土)～17日(月祝) 善き牧者豊中修道院

Ĉu vi konas stereogramon?(127)

SIMATANI Takesi



箕面駅前
の瀧ノ道
ゆずる君

Takinomiti Yuzuru ĉe la stacio Minoo

Suna eklipso 日食 El Vikipedio

Suna eklipso (greke ἐκλειψις, ékleipsis—laŭvorte kovro, ombrigo) sur la tero estas astronomia evento, kiu okazas, kiam la luno por rigardanto en certa parto de la tero tute aŭ parte kovras la sunon: tie, kie la ombro de la luno trafas la teron, rigardeblas la fenomeno.



korono dum plena suna eklipso

Kontraste al luna eklipso 月食, kie vere la luno iĝas malhela, la suno kompreneble plulumas. Nur parto de la tero troviĝas en ombro de la luno. Tial, analogie al la vorto "luna eklipso", fakte estus logike paroli ne pri "suna...", sed pri "tera eklipso" (aŭ pri "sunkovrado").

Laŭ la grado de kovrado eblas distingi kvar specojn de sunaj eklipsoj:

Plena suna eklipso 皆既日食

La luno pasas ekzakte antaŭ la suno kaj komplete kovras ĝin dum mallonga tempo. Tiu tipo de eklipso por astronomoj estas la plej interesa — inter alie, ĉar observeblas la suna korono; tio estas la hela gasa orbito de la suno, kiu normale estas prilumita per la helega suna lumo. Krome ĉe steloj, kiuj por rigardanto sur la tero situas preskaŭ malantaŭ la suno, mezureblas la kurbigo de la stela lumo pro la gravito de la suno.

Ĉar la suno estas relative granda lumilo kaj la luno estas relative malgranda objekto, la plena fazo de eklipso observeblas nur en relative eta teritorio de la tero: tiu teritorio nomiĝas "kerna ombro" kaj havas larĝon de maksimume 265 kilometroj.

Plensuna eklipso eblas nur, se la luno situas proksime de la tero kaj tial por tera rigardanto aspektas ne malpli granda ol la suno.

Ringa suna eklipso 金環日食

Se aliflanke la luno troviĝas relative malproksime de la tero, kaj por tera rigardanto aspektas pli eta ol la suno, ĝi nur kovras la centron de la suno dum suna eklipso kaj ĉirkaŭe restas luma ringo.

Hibrida suna eklipso 金環皆既日食

Hibrida suna eklipso komenciĝas kaj finiĝas ĉiam kiel ringa eklipso kaj dum la meza parto tre mallonge iĝas plena eklipso. Hibridaj eklipsoj estas maloftaj — unu procento de ĉiuj sunaj eklipsoj apartenas al tiu ĉi kategorio. En aprilo 2005 en la orienta parto de pacifika oceano antaŭ la marbordo de Kostariko kaj Panamo okazis tia tipo de eklipso dum proksimume 30 sekundoj, kaj la sekva okazos en 2013. La fenomeno de unue ringa, meze plena kaj fine ringa eklipso eblas pro tio, ke dum la momento de la eklipso la distanco inter luno kaj tero preskaŭ ekzakte samas al la longeco de la kegla ombro de la luno: la luno do nur "pene" kovras la sunon, kaj nur dum tre mallonga tempo. La "kerna ombro" de la luno sur la tero nur ampleksas radiuson de malmultaj dekoj da kilometroj. ↗

夏の季語 sezonaj vortoj de somero

5月26日(土)1時半～句会。会員外も歓迎。メールや手紙でも参加可

立夏 komenco de somero, さつきmajo, メーデーmaja tago, 水無月junio, 文月julio, 初夏frua somero, 麦の秋maturas tritiko, 短夜みじかよmallonga nokto, 梅雨pluva sezono, 五月雨さみだれmaja pluvo, 青嵐あおらし somera ŝtormo, 白夜blankaj noktoj, 夏至somera solstico, 雲の峰(入道雲) kumulonimbuso, 雷fulmo kaj tondro, 夕立subita (forta) pluvo, kaprica pluvo, pluva duŝo, 虹cielarko, 滝akvofalo, 涼しいfriska, 熱帯夜tropika nokto, 夕焼けvesperuĝo, 子供の日tago de knabo(kvina de marto), 鯉のぼりvento-karpo, 柏もちmoĉio kun faga folio, 菖蒲湯bano kun akorfolioj, 母の日tago de la patrino, 祭りsomera festo, 草笛sirinkso, ナイターnokta basballudo, ハンモックhamako, キャンプkampadi, tendumi, 汗ŝvito, ハンカチnasztuko, poŝtuko, 行水sinlavo en pelvego, bano en nevarma akvo, シャワーduŝo, アイスクリームglaciaĵo, 麦茶infuzajo el hordeo, サイダーlimonado, 扇風機 ventumilo, 風鈴ventotintilo, 水遊びludi apud akvo, 水鉄砲akvopafilo, 水中花 akvofloro, プールnaĝbaseno, 海水浴marbano, 夏休みsomera ferio, libertempo, 線香花火artofajra bastoneto, 花火artofajro, 金魚orfiŝo, かたつむりheliko, 雨蛙hilo, verda rano, 蛍lampiro, 目高orizio, 蠅muŝo, 蜘蛛araneo, 蟻formiko, 蚊kulo, moskito, 蜥蜴lacerto, 熱帯魚tropika fiŝo, 天道虫kokcinelo, かぶと虫 skarabo, 毛虫raŭpo, 蟬cikado, 若葉juna folio, 青葉verdaj folioj, 夏草someraj herboj, 竹の子 bambuido, 牡丹 peonio, カーネーションdianto, kariofildianto, ひなげし papaveto, granrozo, 薔薇rozo, 花菖蒲japana irido, 紫陽花hortensio, 鈴蘭konvalo, 桜桃ĉerizarbo, 昼顔kalistegio, サルビアsalvio, 向日葵helianto, sunfloro, 百日紅sarusuberi lagerstromo, 百合lilio, 月見草enotero, 睡蓮nimfeo, 蓮lotuso, トマトtomato, いちごfrago, 青りんごverda pomo, 氷河glaciejo / glaĉero, 泉/清水fonto, 青田rizkampo nematura, 林間学校, libertempa arbora lernejo / somera tendaro, 登山grimpi monton, 幽霊fantomo, 川床(ゆか)friska balkono super rivero, ヨットjako, 夜店nokta foiro, 帰省veni hejmen, 蝙蝠(コウモリ)vesperto, 青鷺(アオサギ)ardeo, クイナAkvoralo/krekso/ralo, 守宮(ヤモリ)geko, アイスコーヒーglacikafo

↗ Parta suna eklipso 部分日食

Sunleviĝo super Antverpeno kun parta eklipso de la 4-a de Januaro 2011. La luno ne pasas ekzakte antaŭ la suno, sed iom supre aŭ sube, kaj tial nur parte kovras ĝin. Se ne plej granda parto de la suno kovriĝas, parta suna eklipso sur la tero per tre multaj homoj tute ne rimarkiĝas. Kompreneble ankaŭ plena suna eklipso komenciĝas kaj finiĝas per parta eklipso.

例会等の出席者(あいうえお順)

クラス	輪読・会話 Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto	出席者合計
月/日 会場	Arthur Conan Doyle の "La Planoj de Bruce Partington" 輪読	
2012年 5/21(月) 公民館	高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子	☀ 3
5/26(土) 駅前南会館 2号室1時半	俳句(夏の季語)とVortomozaiko 岩田好兼、大川純平、島谷剛	☀ 3
6/4(月)	島谷剛、的場祐子	☀ 2
6/11(月)	高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子 "La Planoj de Bruce Partington" は読了しました。18日から "Vere aŭ Fantazie" を輪読します。	☀ 3

例会予定 2012年 6月 4、11、18、(25) 7月 2、9、(16)、23、30*
8月 6 (13) 20、25(土)* 9月 3、10*、(17) 24
10月1*、(8)15*、22*、29*、11月5*、12*、19*、24(上)* 12月3*、10*、17*(24、31)
☞ 毎週月曜日午後6時半～8時半、池田市中央公民館2階集会室(☎072-754-6299)
☞ *は未定。北・南は池田駅前北会館南会館。小さい数字はお休み(祝日など)。💡
3月、4月と12月は例年展示会などで公民館が使えません。

行事予定 2012年 6月16日(土) 池田発送当番 23日～24日(土日) 第60回関西大会
(クレオ大阪東[環状線京橋駅(池田駅から40分)の南南東へ徒歩12分])
7月21日(土) KLEG委員会 28日(土)～8月4日(土)第97回世界エスペラント大会(ハノイ)
8月5日(日)～8月11日(土) 第68回世界青年エスペラント大会(ベトナム・ハノイ)
9月1日(土) KLEG委員会
9月15日～17日(土日祝)第44回林間学校(善き牧者修道院[豊中市], 全日2万円, 講師:
Songanta(韓国), タニヒロユキ, 沖恵明, 川西徹朗, 分科会は聖書・運動・校正)
10月6日～8日(土日祝) 第99回日本大会(札幌) 11月17日(土) KLEG委員会
中央公民館建替: 最終日12月3日(月), 工事: 2013年1月～2014年3月, 再開: 2014年4月
2013年 1月19日(土) KLEG委員会 3月16日(土) KLEG委員会
3月30日(土)KLEG棚卸し 4月20日(土) KLEG委員会
6月25日～26日(土日) 第61回関西エスペラント大会(和歌山市民会館市民ホール)
10月第100回日本大会(東京), 第7回アジア大会(イスラエル)
第98回世界エスペラント大会(アイスランド・レイキャビク)
2014年 第99回世界エスペラント大会はアルゼンチンの首都ブエノスアイレス



★ Vere aŭ Fantazie (Claude Piron)の輪読を始めます。

国連の翻訳者で多くの国・地域で働いてきたピロンさんが世界のお話を集めた短編集です。各話の後に新しい単語のリスト。エスペラントの教育者・論客としても有名です(2頁3頁参照)

★ 第60回関西エスペラント大会

6月23～24(土日)クレオ大阪東[京橋駅南]
野田淳子さんが "Jupitero, Steljuvel" の歌唱指導

★ 第97回世界エスペラント大会

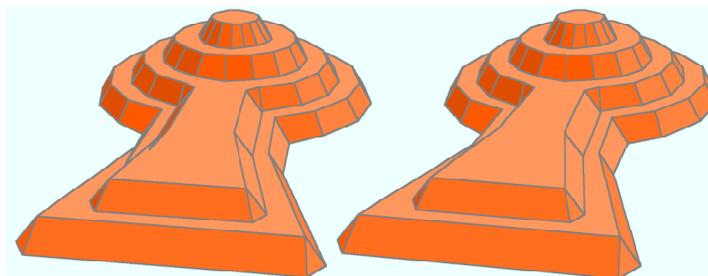
7月28～8月4日(土～土) ベトナム・ハノイ

★ 第43回林間学校

9月15日(土)～17日(月祝) 善き牧者豊中修道院

Ĉu vi konas stereogramon?(128)

SIMATANI Takesi



前方後円墳
Tumulo kun
rektangula
fronto kaj
konusa postaĵo

Kie la mitoj? Kie la realeco?

CLAUDE PIRON

Meze de marto 1979, en la sidejo de Unesko en Parizo, okazis simpozio de la ne-registaraj organizaĵoj pri la rajto je komunikado. UEA iniciatis kaj kunorganizis la simpozion, en kiu la Asocion reprezentis E. Chicot, B. Despiney, P. Guérout kaj C. Piron. La 13-an de marto Piron enkondukis la simpozian sekcion "Lingvo kaj komunikado" per la ĉi-sekva teksto. Brila en sia malsabloneco, leĝera, kvazaŭ poemo kun strategie organizitaj strofoj, tiu teksto rikoltis aplaŭdegon eĉ de tiuj skeptikaj simpozistoj. Jen lekcio pri la arto moderne pledi por Esperanto. Ni lernu. Ni traduku kaj aperigu ĝin en la nacilingva gazetaro.

Oni diris al mi, kiam mi estis eta: "Ne timu demandi pri la vojo. Uzu vian langon, kaj vi iros ĝis la ekstremaĵo de l'mondo". Sed kelkajn kilometrojn for, alia lingvo uziĝis. Sin turni al iu surstrate utilis al nenio.

Oni diris al mi: "Por komuniki kun eksterlando, studu lingvojn en klaso". Sed mi konstatis, ke 90% el la plenkreskuloj ne povas sin plene esprimi per la lingvoj, kiujn ili studis lerneje.

Oni diris al mi: "Per la angla vi povos vin komprenigi ie ajn en la mondo. Sed en hispana vilaĝo mi vidis francan kaj svedan aŭtojn karamboli; la ŝoforoj kapablis komuniki nek inter si nek kun la ĝendarmoj. En tajlanda urbeto mi vidis angorplenan turiston provi klarigi siajn simptomojn al loka kuracisto; kompreniĝo ne okazis. Mi laboris por UN kaj MOS en la kvin mondopartoj, kaj mi konstatis en Gvatemalo, en Bulgario, en Kongo, en Japanio kaj en multaj aliaj landoj, ke ekster grandaj hoteloj kaj aviadkompanioj, la angla estas senutila.

Oni diris al mi: "Dank' al tradukado, la plej malproksimaj kulturoj nun alireblas al ĉiu". Sed kiam mi komparis tradukojn kaj originalojn, mi vidis tiom da missignifoj, da preterlasitaĵoj kaj da stifuŝado, ke mi nur povis konkludi, ke traduki en niajn lingvojn vere estas perfidi.

Oni diris al mi en okcidentaj landoj, ke la Trian Mondon oni volas helpi, respektante la lokajn kulturojn. Sed mi vidis, ke tra la angla kaj franca pasas plej fortaj kulturaj premoj. Mi vidis, ke senkonsidere al la lingva digno de la aliaj, ni dekomence trudas nian lingvon por komuniki kun ili. Kaj mi vidis la sennombrajn problemojn, kiujn renkontas la trejnoj de l' lokanoj, ĉar la okcidentaj teknikistoj ne scias la regionajn lingvojn, kaj en ĉi-lastaj lernolibroj neekzistas.

Oni diris al mi: "Publika instruado garantios egalecon de la ŝancoj al la infanoj de ĉiuj medioj". Kaj mi vidis, precipe en la Tria Mondo, riĉajn familiojn sendi siajn idojn al Britio kaj Usono, por ke ili lernu la anglan, kaj mi vidis la amasojn enŝlositajn en la propra lingvo, submetataj al tiu aŭ tiu propagando, sen ekstera horizonto, tenataj ankaŭ per la lingvo en suba stato sociekonomia.

Oni diris al mi: "Esperanto fiaskis". Kaj mi vidis en svisa montara vilaĝo infanojn de kamparanoj glate interkompreniĝi kun japanaj vizitantoj post ses monatoj da lingvo-instruiĝo.

Oni diris al mi: "Al Esperanto homa valoro mankas". La lingvon mi lernis, mi legis ĝian poezion, ĝiajn kantojn mi aŭskultis. En tiu lingvo mi ricevis konfidencojn de brazilanoj, ĉinoj, irananoj, poloj kaj eĉ juna uzbeko. Kaj jen mi — iama profesia tradukisto — devas konfesi, ke tiuj konversacioj estas la plej spontanaj kaj profundaj, kiujn mi iamajn havis en fremda lingvo.

Oni diris al mi: "Esperanto estas la fino de ĉio kultura". Sed kiam en Orienta Eŭropo, en Latina Ameriko, en Azio min akceptis esperantistoj, mi konstatis, ke preskaŭ ĉiuj estas pli kulturitaj ol la samlandanoj socie samnivelaĵ. Kaj kiam mi ĉeestis internaciajn debatojn tiulingve, la intelekta nivelo vere imponis al mi.

Kompreneble mi menciis ĉirkaŭ mi la aferon. Mi diris: "Venu! Vidu! Ekzistas io eksterordinara: lingvo, kiu vere bone solvas la komunikproblemon inter la popoloj. Mi vidis hungaron kaj koreon tiulingve diskuti pri filozofio kaj politiko kun flueco nekredibla, nur du jarojn post eklerno. Kaj mi vidis tion, kaj ankaŭ ĉi tion, kaj plue tion ĉi ..."

Sed oni diris al mi: "Ne estas serioze. Kaj, unue, tiu lingvo estas malnatura". Mi ne komprenas. Kiam la koro de homo, kiam ties impulsoj, kiam la plej fajnaj nuancoj de ties cerbo esprimiĝas rekte, de buŝo al orelo, per lingvo, kiun naskis disflorado da interretaj komunikoj, oni diras al mi: "Ĝiestas malnatura".

Sed kion mi vidas, vojaĝante tra la mondo? Mi vidas homojn rezigni la sopiratan dialogon kun la loĝantoj de la lando, kie ili pasas aŭ restadas. Mi vidas gestan komunikadon konduki al groteskaj miskomprenoj. Mi vidas personojn soifajn je kulturo, kiujn lingvobarilo malhelpas legi tiom da dezirataj verkoj. Mi vidas multegajn homojn, post ses aŭ sep jaroj da lingvolerno, paroli hake, vane serĉi la ĝustan vorton, uzi ridigan prononcon, kaj fuŝi la nuancojn, kiujn ili volis esprimi. Mi vidas lingvajn neegalecon kaj diskriminacion vikle prosperi tutmonde. Mi vidas diplomatojn kaj fakulojn paroli en mikrofonon, kaj aŭdi aŭskultile alian voĉon ol tiun de la reala kunparolanto. Ĉu tion vi nomas "komuniki nature"? Ĉu la arto problemsolvi kun inteligento kaj sentemo ne plu apartenas al la naturo homa?

Multon oni diras al mi, sed mi konstatas alion. Mi do vagas senkonsila en ĉi tiu socio proklamanta ĉies rajton je komunikado. Kaj mi ne scias, ĉu oni trompas min, aŭ ĉu mi estas freneza.

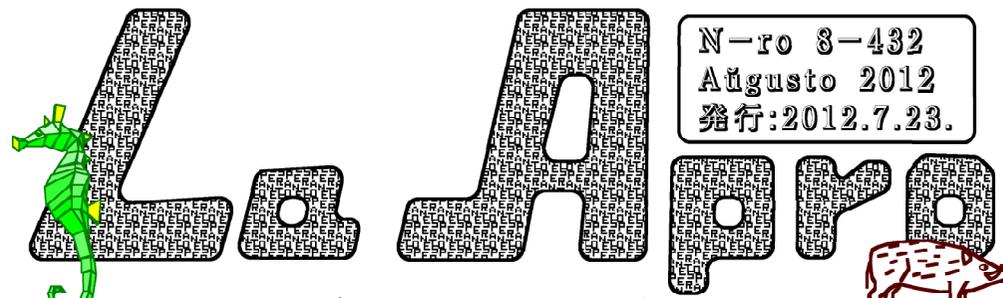
例会等の出席者(あいうえお順)

クラス 月/日 会場	輪読・会話 Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto Claude Piron の短編集 "Vere aŭ Fantazie" 輪読	出席者 合計
2012年 6/18(月) 公民館	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子 "Vere aŭ Fantazie" 輪読開始	☁ 4
7/2(月)	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子	☀ 4
7/9(月)	岩田好兼、久保田百合、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子	☀ 5
7/23(月)	"Vere aŭ Fantazie" 第4話 Serĉas leteran amikon の16行目 Tiu letero estis から	🧐 ?

例会予定 2012年 7月 2、9、(16)、23、30、 8月 6、(13)、20、25(土)*、
9月 3、10*、(17)、24、 10月 1、(8)、15、22*、29*、
11月 5、12*、19、24(上)*、12月 3、10*、17*、(24、31)

☞ 毎週月曜日午後6時半～8時半、池田市中央公民館2階集会室(☎072-754-6299)
☞ *は未定。北・南は池田駅前北会館南会館。小さい数字はお休み(祝日など)。🧐
3月、4月と12月は例年展示会などで公民館が使えません。

行事予定 2012年 7月21日(土) KLEG委員会
28日(土)～8月4日(土)第97回世界エスペラント大会(ベトナム・ハノイ)
8月5日(日)～8月11日(土) 第68回世界青年エスペラント大会(ベトナム・ハノイ)
8月25日(土) 10:00 IKEDA文化DAY出展者説明会(コミュニティーセンター2階大会議室)
9月1日(土) KLEG委員会
9月15日～17日(土日祝) 第44回林間学校(善き牧者一修道院[市], 全日2万円)
10月6日～8日(土日祝) 第99回日本大会(札幌)
11月2日(金)～4日(日), IKEDA文化DAY 市民総合文化展(コミュニティーセンター)
11月17日(土) KLEG委員会
12月28～30日(金土日) 第31回Komuna Seminario (高尾の森わくわくビレッジ)
○中央公民館工事: 利用最終日12月3日(月), 工事2013年1月～2014年3月, 4月再開予定
2013年 1月19日(土) KLEG委員会 3月16日(土) KLEG委員会 3月30日(土) KLEG棚卸し
4月20日(土) KLEG委員会 5月25日～26日(土日) 第61回関西エスペラント大会(和歌山)
10月第100回日本大会(東京), 第7回アジア大会(イスラエル)第98回世界大会(アイスランド)
2014年 第99回世界エスペラント大会はアルゼンチンの首都ブエノスアイレス



La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA
池田エスペラント会 〒563-0021池田市畑1-2-16島谷方 振替:00930-5-34655

★第44回林間学校 Friska Lernejo

日時: 9月15日(土)～17日(月・祝)
会場: 善き牧者愛徳の聖母修道会修道院(豊中市)
初級(会話中心)Son ĝanta (SHIN Eunsuk, 韓国エスペラント協会)←オススメ!
中級(エスペラント文和訳)タニヒロユキ(豊中エスペラント会)
中級(会話中心)沖恵明(神戸エスペラント会)
上級(Disktado)川西徹朗(金沢)
・各種分科会16日4時～6時半
「聖書拾い読み」(相川節子:京都)←オススメです
「KLEG運動論“エストラ”分科会」(木元靖浩:奈良)
「校正の仕方ABC」(田平正子:京都)

★第97回世界エスペラント大会

7月28～8月4日(土～土) ベトナム・ハノイ

★俳句の会(秋の季語←2頁参照) 8月25日(土)か26日(日)駅前

Ĉu vi konas stereogramon?{ 129}

SIMATANI Takesi



箕面川の
大山椒魚
Granda
salamandro
en la rivero
Minoo
(vidu p. 3)

秋の季語 sezonaj vortoj de aŭtuno

文月 julio, 立秋 la unua tago de aŭtuno, 処暑 fino de varmeco, 八月/葉月/仲秋 aŭgusto, 白露/寒露 malvarma roso, 秋分 aŭtuna ekvinokso, 九月/長月 septembro, 霜降 prujno, 十月 oktobro, 稻刈時 rizrikolto, 殘暑 varmo de malfrua somero, 新涼/爽やか/冷やか friskas aŭtuno, 霧 nebulo, 朝寒 matene malvarmas, 夜長 longas nokto, 月 luno, 三日月 lunarko, 満月/名月 plenluno 星月夜 luno kaj steloj, 秋の星 aŭtunaj steloj, 天の川 Ĉiela Rivero / Lakta Vojo / Galaksio, 流星 meteoro / stelpluvo, 彼岸 ekvinoksa budhoservo, 罌雲 ciruskumuliso, 野分 furioza ventego, tajfuno 秋時雨 malvarmeta pluveto, 秋の雷 tondro, 稻妻 fulmo, 運動会 sporta festivalo, 夜学 vespera lernejo, 濁り酒 kruda sakeo, 新米 nova rizo, 枝豆 antaŭmatura sojfabo, とうろ汁 raspita ignamo, 新豆腐 nova tohuo, 燈籠 lanterno, 案山子 birdotimigilo, 脱穀 draŝado / disgrajnigo, 夜なべ labori vespere, 新牛蒡 nova lapo, 盆踊 ulambana danco, 相撲 sumoo, 菊人形 krizantemumita figuro, 芋煮会 manĝi kolokasion, 原爆忌(長崎) Tago de Atombombo, 敗戦日 T de Kapitulado, 震災忌 T de Tokia Tertremo, 敬老の日 T de Maljunuloj, 体育の日 T de Sporto, 文化の日 T de Kulturo, 赤い羽根 ruĝa plumo, 七夕 Stela Festo, 中元 jarmeza donaco, 秋祭 aŭtuna festo, 盂蘭盆会 ulambano, 茄子の馬 solana ĉevalo, 送火 fajro por reirantaj animoj, 墓参 viziti tombon, 燈籠流し flosigi lanternon, 大文字 torĉegoj en formo de "Grando", 鹿 cervo, 猪 apro, 渡り鳥 migrobirdo, 燕 帰る forflugas paseroj, 鴟(もず) lano, 鶉(ひよどり) hipsipeto, 鶺鴒(せきれい) motacilo, 鶉(うずら) koturno, 啄木(きつつき) pego, 雁 渡る alflugas sovaĝanseroj, 鰻(ぼら) mugilo, 鯊(はぜ) gobio, 秋鯖 skombro, 鰯 sardino, 秋刀魚 sairo, 鮭 salmo, つくつく法師 cukcukcikado, とんぼ libelo, 赤蜻蛉(あかとんぼ) ruĝa libelo, 鈴虫 homeogrilo, きりぎりす ĉirpolokusto, ばった arkido/lokusto, 蝗(いなご) rizlokusto/rizarkido, 蟪蛄(かまきり) manto, コオロギ grilo, 蓑虫 saklarvo, 金木犀 orangflava osmanto, 芙蓉 ĉina hibisko, 桃 persiko, 梨 piro, 柿 persimono, 林檎 pomo, 葡萄 vinbero, 栗 kaŝtano, 石榴 granato, 無花果 figo, 胡桃 juglando, 酢橘 sudaĉo, 柚子 vinagocitrono, 檸檬 limono/citrono, 紅葉 ruĝaj folioj (de acero), 黄葉 flavaj folioj, 団栗 glano, 银杏(笑) ginko, 鶏頭 celozio/amaranto, 秋桜(コスモス) kosmoso, 白粉花(オシロイバナ) niktafo, へちま lufo, 鬼灯(ホオズキ) fizalida fruktoŝelo, 鳳仙花 balzamino/netuŝumino, サフラン safrano, 菊 krizantemo, 西瓜 akvomelono, 南瓜 kukurbo, 唐辛子 kapsiko, 稲穂 rizpiko, 玉蜀黍 maizo, 落花生 arakido, 秋の七草 sep aŭtunaj herboj, 萩 lespedezo, 薄(すすき) miskanto, 萱(かや) torejo, 萩 argenta miskanto, 数珠玉 kojksio, 葛(クズ) puerario, ホップ lupolo, 撫子 dianto, 猫じゃらし/エノコログサ verda setario, 曼珠沙華/彼岸花 radia likorido, 桔梗 platikodono, 女郎花(おみなえし) patrinio, 竜胆(りんどう) genciano, 露草 komelino, 茸 fungo, 松茸 macutako, 椎茸 ŝitako, 朝顔 farbito, 苦瓜(ゴーヤー, 荔枝) momordiko

Salamandro El Vikipedio

Salamandroj apartenas kun [trituro](#) al la ordo de [vostaj amfibioj](#) (Urodela aŭ Caudata), klaso [amfibioj](#). Salamandro estas longkorpa, vostoĥava, senhara amfibio. Al la grupo apartenas specioj kiuj vivas daŭre en la akvo, kiel ekz. la [japana granda salamandro](#) kaj specioj kiuj vivas ĉiam surtere kiel ekz. [Makul-salamandro](#) (fajrosalamandro).



Salamandra lanzai

La salamandro laŭ [antikvaj mitologiaj](#) ideoj povas vivi eĉ en la fajro (kiel feo), pro tio ĝi ricevis la nomon fajrosalamandro en multaj lingvoj.

La nocio salamandro signifas - kiel la nocio trituro - nenian sistematikan grupon, sed nur grupon de [vostaj amfibioj](#). sistematiko:

● familia [veraj salamandroj](#)

(Salamandridae); [brankoj](#) ekzistas nur en la larva stadio, ĉe la

plenkreskaj bestoj mankas. Ili havas lacertosimilan korpon kaj 4 mallongajn, malfortajn kruojn. Sekvaj specioj troviĝas en Germanio:

- [Alpa salamandro](#) (Salamandra atra)
- [Makulsalamandro](#) (Salamandra salamandra)
- [Kresta trituro](#) (Triturus cristatus)
- [Kakultrituro](#) (Triturus vulgaris)
- [Planda trituro?](#) (Triturus helveticus)
- [Alpa trituro](#) (Triturus alpestris)

● familia [grandsalamandroj](#) (Cryptobranchidae)

● familia [senpulpaj salamandroj](#), (Plethodontidae), Ili estas surteraj salamandroj sen brankoj, al kiuj apartenas la ruĝa herbeja salamandro en norda Ameriko.

[ĉina giganta salamandro](#), [tilototritono](#)

Amfibioj	
Sistematiko	
<i>Superfilumo:</i>	Novbuŝuloj (Deuterostomia)
<i>Filumo:</i>	Ĥorduloj (Chordata)
<i>Subfilumo:</i>	Vertebruloj (Vertebrata)
<i>Superklaso:</i>	makzeluloj (Gnathostomata)
<i>Serio:</i>	kvarpieduloj (Tetrapoda)
<i>Klaso:</i>	amfibioj (Amphibia)
Ordo	
●	vostaj amfibioj (Caudata)

例会等の出席者(あいうえお順)

クラス	輪読・会話 Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto	出席者合計
月/日 会場	Claude Piron の短編集 "Vere aŭ Fantazie" 輪読	
2012年 7/23(月) 公民館	久保田百合、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子	☁ 4
7/30(月)	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛	☀ 3
8/6(月)	岩田好兼、久保田百合、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子	☂ 5
8/20(月)	"Vere aŭ Fantazie" 第5話 Al mondo transa の14行目 Se ili pensas から	🧑 ?

例会予定 2012年 8月 6、(13)、20、25(土)南1時半、9月 3、10、(17)、24、
10月 1、(8)、15、22*、29*、11月 5、12*、19、24(土)*、
12月 3、10*、17*、(24、31)

☞ 毎週月曜日午後6時半～8時半、池田市中央公民館2階集会室(☎072-754-6299)
☞ *・は未定。北・南は池田駅前北会館南会館。小さい数字はお休み(祝日など)。👤
3月、4月と12月は例年展示会などで公民館が使えません。

行事予定 2012年 8月25日(土) IKEDA文化DAY出展者説明会(コミュニティセンター)
午後1時半月例会(秋の季語で俳句、駅前南会館)

9月1日(土)KLEG委員会 15日～17日(土日祝)第44回エスペラント林間学校(善き牧者修道院
[豊中市], 全日2万円[KLEG会員], 講師: Songanta(韓国), タニヒロユキ, 沖恵明, 川西徹朗,
分科会は聖書・運動・校正) 10月6日～8日(土日祝)第99回日本大会(札幌)

11月2日(金)～4日(日)池田文化DAY(コミセン) 17日(土)KLEG委員会 12月ザメンホフ祭(豊中)
○中央公民館工事: 利用最終日12月3日(月), 工事期間2013年1月～2014年3月, 4月再開予定
12月28～30日(金土日) 第31回Komuna Seminario (高尾の森わくわくビレッジ)

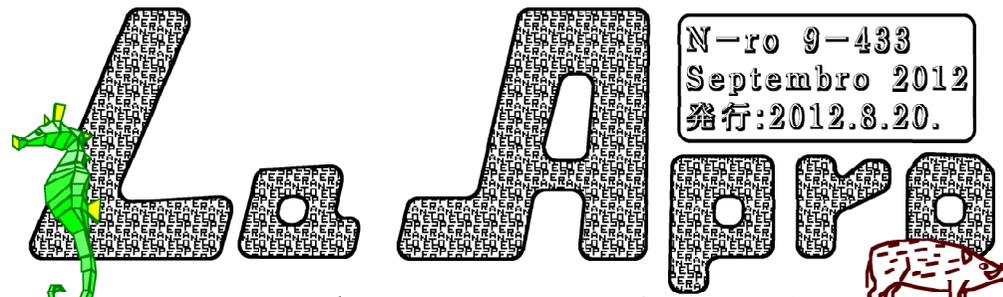
2013年 1月19日(土) KLEG委員会 3月16日(土) KLEG委員会 3月30日(土) KLEG棚卸し

4月20日(土)KLEG委員会 5月25日～26日(土日)第61回関西エスペラント大会(和歌山市民会館)

4月18日～22日(木金土日月) 第7回アジア大会(イスラエル・エルサレム)

7月?第98回世界エスペラント大会(アイスランド・レイキャビク) 10月第100回日本人会(東京)

2014年 第99回世界エスペラント大会はアルゼンチンの首都ブエノスアイレス



La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA
池田エスペラント会 〒563-0021池田市畑1-2-16島谷方 振替:00930-5-34655

★俳句の会8月25日(土)1時半～(秋の季語←3頁参照)

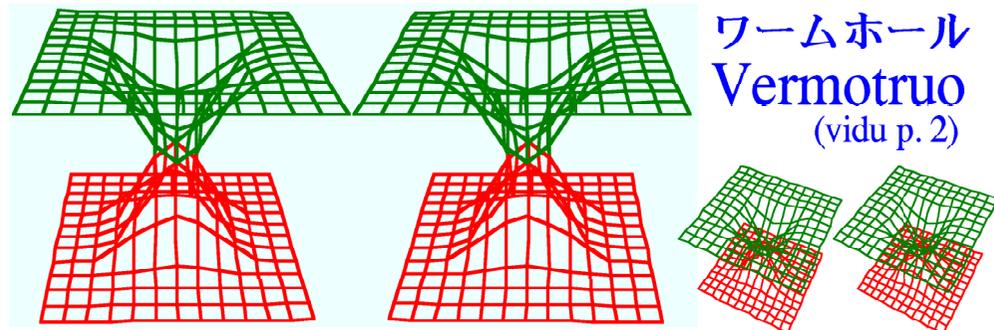
会場: 池田駅前南会館。エスペラント俳句を作って La Movado へ投稿しましょう。
参加費無料。夜の例会は無理という皆様の参加を期待しています。会員外も歓迎。

★2012年5月26日(土)の句会の報告

池田駅前南会館1時半～。参加3名。句会の後は Vortomozaikoで楽しみました。

- 岩田好兼(俳号: Joŝi):
Subite fulmas. Knaboj silentiĝas kaj defore tondras.
Lasinte ŝelon malaperis serpento — Serena tago.
- 大川純平(俳号: Ĵunpe):
Bonvole mortu! Fantomoj vi fariĝu, kaj kune ludu!
- 島谷剛(俳号: Takesi):
Geko senmova sidas sur muro varma — Verdetaj skvamoj
Verdas krepusko — Vespere en aero vespertoj flirtas
Ralo plaŭdete enplonĝis en lageton — Friska vespero
Bela mateno — Naztuko jam trempiĝis de ŝvito mia

Ĉu vi konas stereogramon?(130)

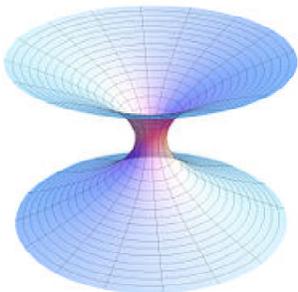


Vermotruo

(ワームホール)

El Vikipedio

En fiziko, vermo-truo estas hipoteza topologia objekto, kiu aperus kiel "ŝparvojo" inter du punktoj de la spacotempo. Oni povus vidigi ĝin (en 2D spacio) kiel du funeloj, kunigitaj ĉe ilia mallarĝaj tuboj, kies «buŝoj» kuniĝus kun du surfacoj (2-dimensiaj spacoj). Fakte, vermotruo ligas du spacojn (aŭ du lokojn de spaco) tra ia kvara dimensio. Eblas, ke materio (aŭ aĵoj) povus trairi vermotruon; kaj foregen vojaĝi tra universo, tra tempo kaj eĉ al aliaj universoj.



Figuro de vermotruo de Schwarzschild.

La terminon eltrovis la usona teori-fizikisto John Archibald Wheeler en 1957, sed la ideon jam formulis la germana matematikisto Hermann Weyl, rilate al sia analizo de la maso, kiel energio de elektromagneta kampo.

La ideo pri vermotruo iĝis grava elemento en scienc-fikcio, ebligante vojaĝo pli rapida ol lumo, tempvojaĝo kaj vojaĝo al aliaj universoj.

Difino

Fundamente vermotruo estas nesimple koneksa spaco en kompakta spaco. Vermotruo povus ankaŭ ligi du universojn, en tiu kazo ne plu eblas paroli pri kompakta spaco: la tutaĵo de du universoj estus simple koneksa spaco.

Diversaj tipoj da vermotruoj

Ĝis nun, la vermotruoj estas nur matematika objektoj, nenia observo indikas ke ili ekzistus nek subatome, nek kosme. Tamen oni povas matematike esplori la proprajojn de iuj de ili.

Vermotruo de Schwarzschild

Ankaŭ nomata ponto de Einstein-Rosen, ĝi estas solvo de la kampa ekvacioj de Einstein, kiun eltrovis Albert Einstein kaj Nathan Rosen en 1935 kombinante la ekvaciojn de nigra truoj kaj tiuj de blanka truoj. Sed ili montris, ke la «diametro» de la tunelo, kiu ligas la nigran kaj blankan truojn estas nula, do nek materio nek lumo povas trairi ĝin. (ブラックホールとホワイトホール)

Vermotruo de Kerr-Newman

Ĝin naskas nigra truoj de Kerr-Newman, tie estas ŝarĝita kaj turniĝanta nigra truoj. Tiaj truoj nepre estas plej oftaj, ĉar ĉiuj kosmaj objektoj turniĝas. Ene de ili la spaco obeas la metrikojn de Kerr kaj Kerr-Newman. La turno de la nigra truoj "trenas" la spacon.

Laŭ Roger Penrose, objekto sekvanta difinan orbiton povas trairi la nigran truon kaj eniri ĝin la hipotezan vermotruon. (vidu la apudan figuron). Tia vermotruo estas trair-ebla laŭ nur unu direkto.

Vermotruo de Morris-Thorne kun «malmaso»

Sed tiuj-ĉi vermotruoj estas nestabilaj. fakte ili tuje malaperas.

Kip Thorne kaj lia lernanto Mike Morris, en 1988 proponis, ke oni povus teni malfermatan vermotruon, ĉirkaŭante ĝin per ŝelo da ekzota materio, kies maso estus negativa. kompreneble, neniun nuntempe scias, ĉu tia materio povas ekzisti.

Metriko

La teorioj de la vermotrua metriko priskribas la spacotempan geometron de vermotruo, kaj indikas la eblecon uzi ilin kiel spacotempa ŝparvojo. Ekzemple, metrika tensoro de trair-ebla vermotruo estas la jena :

$$ds^2 = -c^2 dt^2 + dl^2 + (k^2 + l^2)(d\theta^2 + \sin^2 \theta d\phi^2).$$

La metrika tensoro de ne-trair-ebla vermotruo estas la solvo de Schwarzschild:

$$ds^2 = -c^2 \left(1 - \frac{2GM}{rc^2}\right) dt^2 + \frac{dr^2}{1 - \frac{2GM}{rc^2}} + r^2(d\theta^2 + \sin^2 \theta d\phi^2).$$

Vermotruo en sciencfikcio

La sciencfikciaj verkistoj tre ŝatas la vermotruojn, ĉar ili permesus vojaĝojn pli rapidaj ol lumo, tion, kion ŝajnis malpermesi la einsteina relativeco.

Spacvojaĝo

En la fino de la filmo «2001: A Space Odyssey» (laŭ novelo de Arthur C. Clarke), la spacŝipeto de John Bowman falas en truon, kiu neklarigeble malfermiĝis en spaco. Tiam (1968) la termino vermotruoj ne ankoraŭ publike konatiĝis.

Arthur C. Clarke kaj Stephen Baxter kun-verkis «The Light of Other Days» (la lumo de aliaj tagoj); la scienco sukcesas kapti la lumon tra sub-atomaj vermotruoj (estigintaj de subatomaj nigraj truoj); tiu, kiu permesas laŭvole vidi ĉion ajn, ĉie ajn, ĉiam ajn.

秋の季語 sezonaj vortoj de aŭtuno «再掲»

文月 julio, 立秋 la unua tago de aŭtuno, 処暑 fino de varmeo, 八月/葉月/仲秋 aŭgusto, 白露/寒露 malvarma roso, 秋分 aŭtuna ekvinokso, 九月/長月 septembro, 霜降 prujno, 十月 oktobro, 稻刈時 rizrikolto, 殘暑 varmo de malfrua somero, 新涼/爽やか/冷やか friskas aŭtuno, 霧 nebulo, 朝寒 matene malvarmas, 夜長 longas nokto, 月 luno, 三日月 lunarko, 満月/名月 plenluno, 星月夜 luno kaj steloj, 秋の星 aŭtunaj steloj, 天の川 Cielaj Rivero/Lakta Vojo/Galaksio, 流星 meteoro/stelpluvo, 彼岸 ekvinoxsa budhoservo, 罌雲 ciruskumuliso, 野分 furioza ventego, 台風 stormo, 秋時雨 malvarmeta pluveto, 秋の雷 tondro, 稻妻 fulmo, 運動会 sporta festivalo, 夜学 vespera lernejo, 濁り酒 kruda sakeo, 新米 nova rizo, 枝豆 antaŭmatura sojfabo, とうろ汁 raspita ignamo, 新豆腐 nova tohuo, 燈籠 lanterno, 案山子 birdotimigilo, 脱穀 draŝado/disgrajigo, 夜なべ labori vespere, 新牛蒡 nova lapo, 盆踊 ulambana danco, 相撲 sumoo, 菊人形 krizantemumita figuro, 芋煮会 mangi kolokasion, 原爆忌(長崎) Tago de Atombombo, 敗戦日 T de Kapitulado, 震災忌 T de Tokia Tertremo, 敬老の日 T de Maljunuloj, 体育の日 T de Sporto, 文化の日 T de Kulturo, 赤い羽根 ruĝa plumo, 七夕 Stela Festo, 中元 jarmeza donaco, 秋祭 aŭtuna festo, 盂蘭盆会 ulambano, 加子の馬 solana ĉevalo, 送火 fajro por reirantaj animoj, 墓参 viziti tombon, 燈籠流し flosigi lanternon, 大文字 torĉegoj en formo de "Grando", 鹿 cervo, 猪 apro, 渡り鳥 migro-birdo, 燕帰る forflugas paseroj, もず lanio, ひよどり hipsipeto, せきれい motacilo, うずら koturno, きつつき pego, 雁渡る allugas sovaĝanseroj, ぼら mugilo, はぜ gobio, 秋鯖 kombro, 鱈 sardino, 秋刀魚 sairo, 鮭 salmo, つくつく法師 cukcukikado, とんぼ libelo, 赤とんぼ ruĝa libelo, 鈴虫 homeogrilo, きりぎりす sirpolokusto, ばった arkido/lokusto, いなご rizlokusto / rizarkido, かまきり manto, コオロギ grilo, 藁虫 saklarvo, 金木犀 orangflava osmanto, 芙蓉 ĉina hibisko, 桃 persiko, 梨 piro, 柿 persimono, 林檎 pomo, 葡萄 vinbero, 栗 kaŝtano, 石榴 granato, 無花果 figo, 胡桃 juglando, 酢橘 sudaĉo, 柚子 vinagrocitrono, 檸檬 limono/citrono, 紅葉 ruĝaj folioj (de acero), 黄葉 flavaj folioj, 団栗 glano, 銀杏(実) ginko, 鶏頭 celozio/amaranto, 秋桜 kosmoso, オンシロイバナ niktafo, へちま lufo, ホオズキ fizalida frukto ŝelo, 鳳仙花 balzamino/nectuŝumino, サフラン safrano, 菊 krizantemo, 西瓜 akvomelono, 南瓜 kukurbo, 唐辛子 kapsiko, 稲穂 rizspiko, 玉蜀黍 maizo, 落花生 arakido, 秋の七草 sep aŭtunaj herboj, 萩 lespedezo, すずき miskanto, かや torejo, 萩 argenta miskanto, 数珠玉 kojokso, 葛(クス) puerario, ホップ lupolo, 撫子 dianto, 猫じゃらし / エノコログサ verda setario, 曼珠沙華/彼岸花 radia likorido, 桔梗 platikodono, おみなえし patrinio, りんどう genciano, 露草 komelino, 茸 fungo, 松茸 macutako, 椎茸 sitako, 朝顔 farbito, 苦瓜(ゴーヤー, 荔枝) momordiko

例会等の出席者(あいうえお順)

クラス	輪読・会話 Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto	出席者合計
月/日 会場	Claude Piron の短編集 "Vere aŭ Fantazie" 輪読	
2012年 8/20(月) 公民館	岩田好兼、久保田百合、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子	☀️ 5
8/25(土) 駅前南会館	秋の季語で俳句+Vortomozaiko 岩田好兼、大川純平、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子	☀️ 5
9/3(月)	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子	☁️ 4
9/10(月)	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子 9月24日は第7話 Plej Multaj Feliĉu の前から3分の1, Mono! から	☂️ 4

例会予定 2012年 9月 3, 10, (17), 24, 10月 1, (8), 15, 22*, 29*,
11月 5, 12*, 19, 24(土)*, 12月 3, 10*, 17*, (24, 31)

☞毎週月曜日午後6時半~8時半、池田市中央公民館2階集会室(☎072-754-6299)

☞*は未定。北・南は池田駅前北会館南会館。小さい数字はお休み(祝日など)。☞
3月、4月と12月は例年展示会などで公民館が使えません。

行事予定 2012年 9月1日(+)KLEG委員会
15日~17日(土日祝)第44回エスペラント林間学校(善き牧者修道院),

9月29日(土) 10:00 IKEDA文化DAY出展者説明会

10月6日~8日(土日祝) 第99回日本大会(札幌)

11月2日(金)~4日(日), IKEDA文化DAY 市民総合文化展(コミュニティーセンター)

11月5日(月)「国際語エスペラント一日体験」 11月17日(上) KLEG委員会

12月15日ごろ ザメンホフ祭(豊中)

中央公民館工事: 利用最終日12月3日(月), 工事期間2013年1月~2014年3月, 4月再開予定

12月28~30日(金土日) 第31回Komuna Seminario(青年エスペラント合宿, 東京都八王子市の高尾の森わくわくビレッジ, www.wakuwaku-village.com/)

2013年 1月19日(土) KLEG委員会 3月16日(土) KLEG委員会 3月30日(土) KLEG棚卸し

4月20日(土) KLEG委員会

5月25日~26日(土日) 第61回関西エスペラント大会(和歌山市民会館市民ホール)

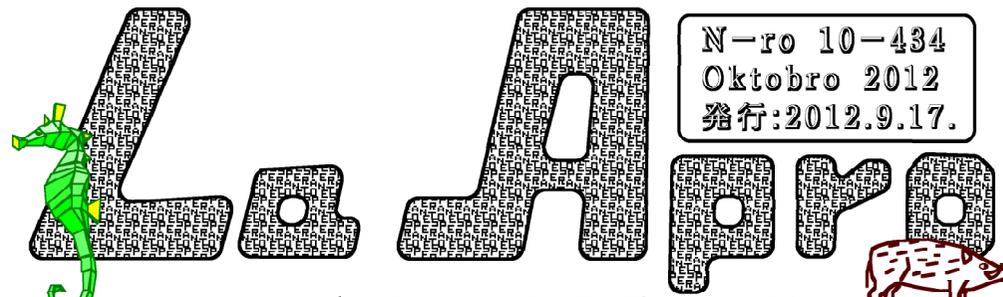
4月18日~22日(木金土日月) 第7回アジア大会(イスラエル・エルサレム)

7月? 第98回世界エスペラント大会(アイスランド・レイキャビク)

10月第100回日本大会(東京)

2014年 第99回世界エスペラント大会はアルゼンチンの首都ブエノスアイレス

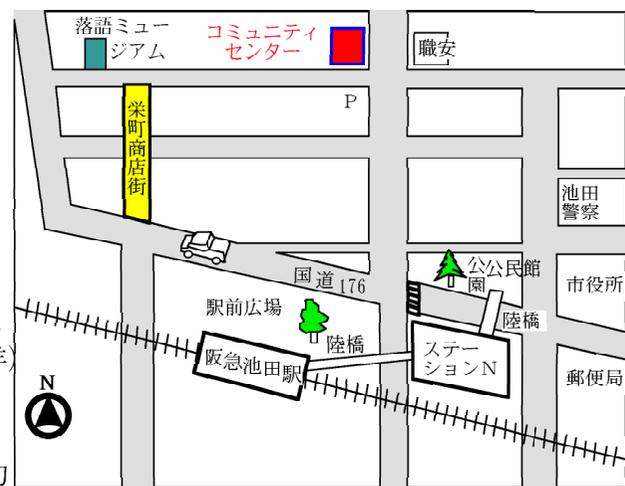
Pola retradioの9月11日の放送で、ボーカロイド(合成音声で歌を歌うソフト)初音ミクが歌う"Jupitero, Steljuvel"が紹介されました。ホルストの『惑星』の中の『木星』に島谷剛が作詞(関西大会で入賞)し、にしかわさとるさんがデータを入力したものです。



La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA
池田エスペラント会 〒563-0021池田市畑1-2-16島谷方 振替: 00930-5-34655

★池田文化デー

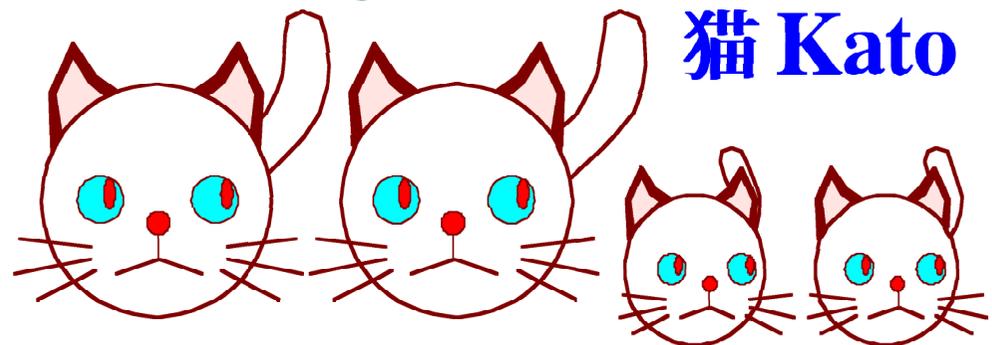
- 11月2日~4日(金土日)
10時~4時(搬入: 2日午前)
- 池田駅から北へ徒歩10分の
コミュニティーセンター
(〒563-0058池田市栄木町9-1,
☎072-751-5983)でパネル展示
- 西側に、落語ミュージアム、
北に五月山動物園(アルパカ、
ウォンバット、ワラビー、羊
駅の南にインスタントラ
メン発明記念館があります。
- ★冬の季語でエスペラント俳句
11月24日(土) 1時半~のつもり。会場未定。



Ĉu vi konas stereogramon?(131)

SIMATANI Takesi

猫 Kato



角背糸かがり製本

1) 本文を用意する(PDFなどで)

2) 折丁印刷

・16頁(片面2頁×両面×4枚)一折りとなるよう。
「小冊子の印刷」等で頁順を入れ替えて印刷する。
片面印刷しかできないプリンタでは、まず表側を印刷し、裏返して逆順に裏側を印刷する。

・4枚ずつまとめておる。

3) すべての折丁をそろえて折り、糸かがりの穴をあける。

糸のこで4~5か所の穴をあける。ちゃんと開いていない場合目打ちで突き刺す。

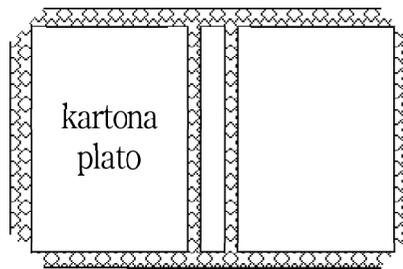
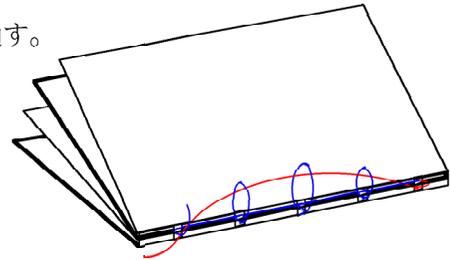
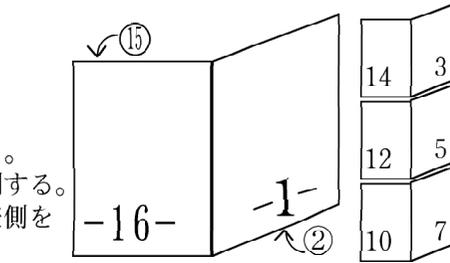
4) 針と糸でかかる。

- ・ひとつ目の折丁の両端の間の内側に糸を通す。
- ・2番目の折丁の端の穴から糸を入れ、次の穴から出し
その下のひとつ目の折丁の穴に入れ
内側の糸をくぐらせて穴から出し、2番目の折丁の穴に戻す。
- ・2番目の折丁の穴の次の穴から出して、同様にもう一方の端までくりかえす。
- ・2番目の折丁の端の穴から出して、3番目の折丁の端の穴に入れる。
- ・3番目の折丁の次の穴から出して、その下の2番目の折丁の糸をくぐらせ元の穴に戻す。
- ・以下同様に最後の折丁まで繰り返す。最後はほどけないように糸を結ぶ。
- ・折丁をそろえて、見返しを両側につけて押さえ、背をボンドで固める。
見返しは本文用紙と同じ大きさの紙を二つ折り。ノドだけを折丁にのり付け。

※針は火にあぶって曲げておくと作業しやすい。

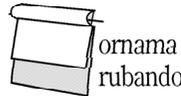
5) 角背の表紙をつける。

- ・ボール紙から表紙2枚と背板を切り取る。
表紙と背板は本文より上下に少し長い。
- ・表紙の布に紙で裏貼りする。
不易のりを薄めて刷毛でぬる。
- ・ボール紙を裏貼りした布に貼る。
薄めた不易のりを刷毛でぬる。
表紙と背板の間を7mmほどあける。
はみ出した布は折り返して糊付けする。



6) クラフト紙を筒状に貼って、クータを作る。

- ・糸かがりした折丁の背にクータを貼りつける。
- ・クータを貼る前に花布(はなぎれ)や、しおりひもを付けてもよい。



7) 見返しとクータにのりを塗り、表紙と背板を貼り付ける。

乾くまで、重しで押さえる。

Kiel bindi rekt dorsan libron

1) Aranĝu tekston (en PDF aŭ aliaj).

2) Presu bindotajn foliojn.

- ・Presu 16 paĝojn kune (du paĝoj en unu flanko × du flankoj × 4folioj)
Per la menuo «broŝuro» k.a. vi povas transloki paĝojn.
Se via presilo presas nur unuopan flankon, unue presu la frontajn paĝojn.
Due renversu la faskon kaj «inverse» presu la dorsajn flankojn.
- ・Faldu la kvaropajn foliojn.

3) La faldaĵojn metu unu sur alian. Segu truojn sur kudrolinioj.

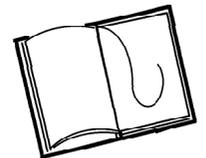
Segu la faldaĵojn kaj faru po 4 ĝis 5 truojn por ĉiu faldaĵo. Piku la truojn per pikilo.

4) Bindu per kudrilo kaj fadeno.

- ・Tredu fadenon interne inter du ekstremaj truoj de la unua faldaĵo.
 - ・La fadeno eniru de la ekstrema truo de la dua faldaĵo.
Ĝi eliru el la sekvanta truo de la dua faldaĵo.
La fadeno eniru en la suban truon de la unua faldaĵo.
Ĝi ĉirkaŭpasu la internan parton de la fadeno kaj eliru per la sama truo.
Denove la fadeno reeniru en la truon de de la dua faldaĵo.
 - ・Kaj eliru de la sekva truo de la dua faldaĵo. Ripetu samon ĝis la alia ekstremo.
 - ・Fadeno eliru el la ekstrema truo de la dua faldaĵo kaj eniru en la supran truon de la tria faldaĵo.
 - ・Ĝi eliru el la sekva truo de la tria faldaĵo, ĉirkaŭiru duafaldaĵan parton de la fadeno kaj ree eniru en la truon de la tria faldaĵo.
 - ・Ripetu samon ĝis la lasta faldaĵo. Faru nodon, por ke la faldaĵoj ne disigu.
 - ・Aldonu ŝirmfaldaĵon al ĉiu flanko. Solidigu la dorson per vinila gluo.
Ŝirmfaldaĵo estu el folio same granda kiel tiuj por la teksto. Gluu nur kudroliniojn.
- ※Por rapide kudri vi povas kurbigi kudrilon en flamo.

5) Bindu per kartono kaj tolo

- ・Tranĉu kartonon por du platoj kaj dorso.
Ili estu iomete pli longa ol la tekstaj paĝoj.
- ・Solidigu tolon per gluita papero.
Brosu akvumitan amel-gluon sur papero, kiun metu sur rektigita tolo.
- ・Per broso algluu la paperumitan tolon al la kartonaj platoj kaj dorso.
Uzu akvumitan amelan gluon.
7 milimetraj interspacoj estu inter la platoj kaj kaj la dorso.
Marĝenon refaldu kaj gluu al kartono.



6) Faru papertubon el fortopapero.

- ・Gluu papertubon al la dorso de la kunigitaj faldaĵoj.
- ・Antaŭ ol papertubo vi povas alglui ornaman rubandon kaj/aŭ interfolian bendon.

7) Gluu ŝirmfaldaĵon kaj papertubon al kartonaj dorso kaj platoj.

Premu la tuton per pezaĵo ĝis la libro estos seka.

例会等の出席者(あいうえお順)

クラス	輪読・会話 Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto	出席者合計
月/日 会場	Claude Piron の短編集 "Vere aŭ Fantazie" 輪読	
2012年 9/24(月) 公民館	高鶴弘夫、島谷剛	☀️ 2
10/1(月)	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子	☁️ 4
10/15(月)	岩田好兼、久保田百合、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子	☁️ 5
10/22(月)	"Vere aŭ Fantazie" の輪読 第9話 Timo havigas flugilojn の3分の2くらいで Vi kaj mi pri tio tiel miras から	👤? ?

例会予定 2012年 10月 1、(8)、15、22学習室、29、11月 5、12*、19、24(土)*
12月 3、(10)、17*、(24、31) ※3月までは月曜日に例会(月2回)

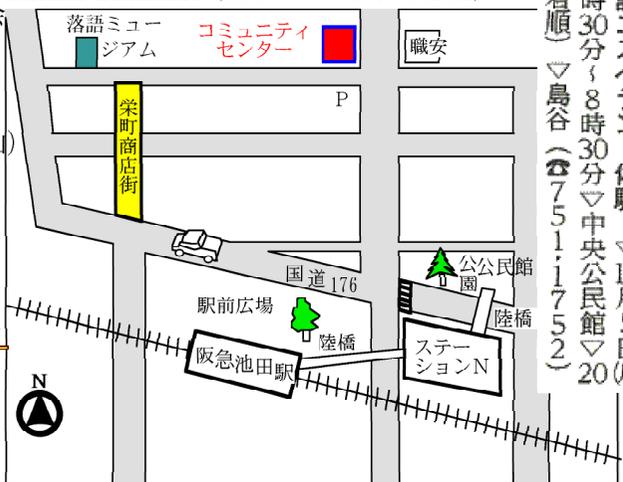
☞ 毎週月曜日午後6時半~8時半、池田市中央公民館2階集会室(☎072-754-6299)
☞ *は未定。北・南は池田駅前北会館南会館。小さい数字はお休み(祝日など)。
3月、4月と12月は例年展示会などで公民館が使えません。

行事予定 2012年 10月6日~8日(土日祝) 第99回日本大会(札幌)
11月2日(金)~4日(日)、IKEDA文化DAY (コミュニティーセンター)

11月5日(月)「国際語エスペラント体験」 11月17日(土) KLEG委員会
12月9日(日)ザメンホフ祭1時半とよなか国際交流センタ(豊中駅前エトレ6階)
○中央公民館工事: 利用最終日12月3日(月)、工事期間2013年1月~2014年3月
12月28~30日(金土日) 第31回Komuna Seminario (青年エスペラント合宿)
2013年1月19日(土)KLEG委員会

3月16日(土) KLEG委員会
3月30日(土) KLEG棚卸し
4月20日(土) KLEG委員会
5月25日~26日(土日) 第61回
関西エスペラント大会(和歌山)
4月18日~22日(木金土日) 月)
第7回アジア大会 エルサレム
7月末? 第98回世界大会
アイスランド・レイキャビク
10月第100回日本大会(東京)
2014年 第99回世界大会は
アルゼンチン・ブエノスアイレス

西尾務さん・みずえさん転居
〒522-0074 滋賀県彦根市
大東町7番10-207号
(☎0749-26-4656は変更なし)



国際語エスペラント体験
午後6時30分~8時30分
人(先着順)▽島谷(☎7511752)▽11月5日(月)20



N-ro 11-435
Novembro 2012
発行:2012.10.22.

La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA
池田エスペラント会 〒563-0021池田市畑1-2-16島谷方 振替:00930-5-34655

★2012年8月25日(土)の旬会

- La Movado 11月号(10月発行)に未掲載の俳句です
○ 岩田好兼(俳号: Joŝi):
De ie kaŝtanoj roŝtataj bonodoras. Haltas paŝtano.
Aŭtunan nokton mi momente tremas kaj komencas trofi
○ 大川純平(俳号: Junpe):
Viziti tombon—Post longa forestado revidis ni nin.
○ 久保田百合(俳号: Yuri):
Akvomelonoj grandiĝis kaj okupis dorsan ĝardenon
○ 高鶴弘夫(俳号: Gruo):
Meze de ŝtormo por elfosi batatojn patrino iras.
Forpasis ŝtormo. Nu, ni frue ekiru sekvan matenon
○ 的場祐子(Yuko):
La aŭtuna vento piedirigis grupon dise blovante.
Aŭtunaj floroj vespere kaj matene pli kaj pli ruĝas.
○ 島谷 剛(俳号: Takesi):
Ĝinkoj alfalis pavimajn ŝtonojn frape—Makuloj flavaj
Ĉe viandisto antaŭ fenestro montra—Apro mortinta
Cukcukcikado cukcukas en arbaro — Toronto klara



★冬の季語: 冬至vintra solstico, クリスマスkristonasko, 師走/年の暮/年の瀬jarfinaj tagoj, 大晦日jarfina tago; silvestro, 除夜jarfina nokto, 除夜の鐘sonorado de~, 大寒granda frosto, 短日mallongas tago, 霜夜prujna / frosta nokto, 寒波frosto, 節分lasta tago de vintro, 寒月frosta luno, 風/木枯/北風frosta vento, 霰grajlo; hajleto, 霰neĝpluvo, 霜prujno, 雪neĝo, 雪女neĝulino, 吹雪neĝoŝtormo, 雪原neĝkampo, 枯野morta kampo, ボーナスkromsalajro, 煤払ĝenarala purigo, 第九aŭta simfonio de Beethoven, 忘年会jarfina bankedo, 晦日蕎麦jarfina fagopirajo, 膝掛genuŝirmilo, セーターjerzo, オーバーpalto, 襟巻koltuko, 手袋gantoj, 餅moĉio; rizkuko, 雪掻forigi neĝon, ストーフajrujo; forno, スキーskii, スケートsketi, 風邪malvarmumo, 日向ぼこsunumi sin, 豆撒 demonekzorco ĉe secubuno, 鬼は外For la demonoj!, 熊urso, 冬眠vintrodormi, 狸niktereŭto, 狼lupo, 鼬mustelo, むささびflugsciuro, 兎leporo; kuniklo, 鯨男魚baleno, 鷹akcipitro, 鷹狩falĉoĉaso, 鴨sovaĝanaso, 白鳥cigno, 鮎tinuso, 鰯seriolo, 鮫鰻lofio, 河豚tetrodono; balonfiŝo, 鯉frombo; platfiŝo, 海鼠holoturio; markolbaso, 牡蛎ostro, 山茶花sazanko, 蜜柑mandarino; orango, 枇杷の花floras eriobotrio, 枯葉velkintaj/mortintaj/falinta folio, 枯木~a arbo, 葉牡丹ornama brasiko, 白菜ĉina/pekina brasiko, ブロッコリbrokolo, 葱tubfolia ajlo, 大根rafano, 人參karoto, 竜の玉(蛇の髻(ofiopogono=drakbarbo)の実)frukto de ~, 年賀状novjara salutkarto, お年玉 novjara donaco, 獅子舞 leonmaska danco, 初詣 unua vizito al sanktejo



口真似

大蔵虎寛本 能狂言
人物: 主、客、太郎冠者

主「是は此當りに住居致す者で御ざる。去方より、よい酒をもらふて御ざるが、誰そ心安い御方と、たべとう御ざる。先ず太郎冠者を呼びだし、相談致そうと存ずる。太郎冠者、おるか。」
太郎冠者「はああ、お前に。」
主「そちを呼び出すこと、別なる事でもない。さる方より良い酒を貰うたが、誰そ心易い御方と飲みたいものじゃが誰殿がよかるうぞ。」
太郎冠者「心安い者ならば、誰かれと仰せらるるより、私と吞ませられい。」
主「いかに心安いというて、汝と吞うで何の面白いことがあるものじゃ。汝、分別して呼まして来い。」
太郎冠者「畏まって御ざる。」
主「早う戻れ。」
太郎冠者「心得ました。」
主「エイ。」
太郎冠者「ハア。是はいかな事。むつかしい事を仰せ付けられた。誰殿へ参ろう。イヤ、下の町の誰殿を呼びまして参ろう。先ず急いで参ろう。斯う参っても、御宿に御ざれば、よう御ざるが、若し御宿に御ざらぬ時は、参ったせんも無い事で御ざる。イヤ、参る程に是じゃ。先ず案内を乞おう。物まう案内まう。御内にござりまするか。」
誰殿「いや表に物まうとある。案内とは誰そ物まうとは。」
太郎冠者「私で御ざる。」
誰殿「エイ太郎冠者、(中略)今は何と思ふておりやったぞ。」
太郎冠者「頼ふだ者申します。去かたよりよい酒を貰ふて御ざるに依りて、御出でなされて、一つ召し上がられて下さるうならば、忝のう御ざる、と申しこしまして御ざる。」(中略)
誰殿「其儀成らばいても遣らふか。」
太郎冠者「さあ〃御ざれ〃。」(中略)
誰殿「参る〃。」(中略)
太郎冠者「今少して御ざる。いそがせられい」
誰殿「心得た。」
太郎冠者「申し頼ふだ人、御座りまするか。太郎冠者が戻りまして御ざる。」(中略)
主「やれ〃大儀や。扱誰殿を呼まして来たぞ。」



Imito

Tradukis, Simatani takesi 2012
el "NooKyoogen" de Ookura Torahiro

Mastro: Mi estas loĝanto en ĉi tiu loko. Mia amiko donis al mi bonan sakeon. Mi volas festeni kun iu familiara. Tarookazya proponu bonan sinjoron... Kie estas Tarookazya?!

Tarookazya: Jen, antaŭ vi!

Mastro: Mi vokis vin por konsulti. Mia amiko donis al mi bonan sakeon. Mi volas festeni kun iu familiara. Kiun vi proponas por kunfesteni?

Tarookazya: Mi, Tarookazya estas la plej familiara por vi! Mi festenos kun vi.

Mastro: Kvankam familiara, vi ne estos amuza trinkanto. Iru kaj invitu iun taŭgan sinjoron.

Tarookazya: Laŭ via ordono!

Mastro: Revenu plej baldaŭ.

Tarookazya: Mi rapidos!

Mastro: Jam iru! Ek!

Tarookazya: Jen! ... Ho, ve, malfacilan taskon mi havas. Kiun sinjoron mi invitu por li? Ha, mi vizitu S-ro ()! Mi rapidu al li. Mi esperas, ke mi trafos lin hejme. Se li estos for, mia peno estos vana... Ha, mi jam staras antaŭ lia domo. Hej, Sinjoro! Saluton, Sinjoro! Ĉu vi estas hejme?

S-ro X: Oni vokas min de-ekstere. Kiu bonvolas viziti min?

Tarookazya: Jen mi, Sinjoro!

S-ro X: Hej, Tarookazya, pro kio vi vizitis min?

Tarookazya: Mia mastro sendis min por inviti vin. Hodiaŭ li havas tre bonan sakeon. Li volas havi vian favoron, ke vi bonvolu viziti lin kaj kunfestenu kun li en ĉi tiu vespero.

S-ro X: Bone. Mi venos.

Tarookazya: Venu, venu, sinjoro!

S-ro X: Bone. Mi venos.

Tarookazya: Proksimas la domo. Volu veni, sinjoro.

S-ro X: Bone. Mi venos...

Tarookazya: Hej, Sinjoro! Ĉu vi estas hejme? Revenis Tarookazya!

Mastro: Dankon, Tarookazya! Kun kiu sinjoro vi revenis?

太郎冠者「下の町の誰殿を呼ぶで参りました。」(中略)
主「あの人はつゝと目恥かしい人で、あの人の前で遣はふ者が無い。」
太郎冠者「それこそ私が能う御座らう。」
主「おのれが様な腰の高い者が何のやくに立つものか。(中略)さりながら誰かれというふて、外に人も無いところで、何事も、それがしがいふ様、する様に、口真似をせい。」
太郎冠者「畏て御ざる。」
主「斯う御通りなされいと云へ。」
太郎冠者「心得ました。斯う御通りなされいと申します。」
誰殿「通ふか。」
太郎冠者「つゝと通らせられい。」
誰殿「心得た。不案内で御ざる。」
主「初対面で御ざる。」
誰殿「今日は召寄られて忝のう御ざる。」
主「太郎冠者を進じましたに、早速御出でなされて忝のう御ざる。」
誰殿「ハア。」
主「太郎冠者、御盃をだせ。」
太郎冠者「太郎冠者、御盃をだせ。」
主「ヤイ御盃を出せとはおのれが事じゃ」
太「ヤイ御盃を出せとはおのれが事じゃ」
主「ヤイ、こちへ来い。」
太郎冠者「何事で御ざる。」
主「あなたはお客じゃ。御盃を出せとはおのれに云い付くることじゃ(叩く)」
太郎冠者「ヤイ、こちへ来い。」
誰殿「何事じゃ。」
太郎冠者「御盃を出せとはおのれに云い付くることじゃ(誰殿を叩く)」
主「アゝ、お肩が痛みましょう。」
太郎冠者「アゝ、お肩が痛みましょう。」
誰殿「左様にも御ざらぬ。」(中略)
主「御盃を出せとはおのれに云い付くることじゃ(耳を引く)」
太郎冠者「御盃を出せとはおのれに云い付くることじゃ(誰殿の耳を引く。)」
主「アゝ、お耳が痛みましょう。」
太郎冠者「アゝ、お耳が痛みましょう。」
誰殿「左様にも御ざらぬ。」
主「やあら、おのれは憎いやつ。口真似をせいと云へば主に恥をかゝせおる。おのれが様なやつは、まっ斯うして置いたがよい。(引き回して、つき倒す)(誰殿へ)夫れにゆるりと御ざれ。追っ付け盃を出しませう。」(主退場)
誰殿「構はせらるゝな。」
太郎冠者 起きて口真似をし、誰殿を引き回してつき倒す。口真似をし退場
誰殿「構はせらるゝな」(起き退場) (終)

Tarookazya: Kun S-ro () mi revenis.

Mastro: Ha, li estas plej postulema! Neniu bone servos al li.

Tarookazya: Mi mem servos al li.

Mastro: Vi, arogantulo certe ofendos lin! Mi tamen ne havas alian serviston ol Tarookazya. Bone, mi havas bonan Ideon. Vi imitu ĉiun mian vorton aŭ agon.

Tarookazya: Laŭ via ordono. Mi imitos.

Mastro: Diru: Bonvolu enveni, mi petas.

Tarookazya: Mi diros al la sinjoro: Bonvolu enveni, mi petas.

S-ro X: Bone?

Tarookazya: Bonvolu enveni, mi petas.

S-ro X: Bone!.. (al Mastro) Saluton!

Mastro: Bonvenon S-ro ().

S-ro X: Mi dankas vin.

Mastro: Mi sendis Tarookazya por inviti vin. Mi dankas, ke vi venis.

S-ro X: En ordo.

Mastro: Tarookazya, alportu sakeon!

Tarookazya: Tarookazya, alportu sakeon!

Mastro: Hej, vi mem devas alporti sakeon!

Taroo.: Hej, vi mem devas alporti sakeon!

Mastro: Hej, venu ĉi tien.

Tarookazya: Kio okazis, Sinjoro?

Mastro: Li estas gasto. Mi ordonis al vi alporti sakeon. (batas lin)

Tarookazya: Hej, venu ĉi tien.

S-ro X: Bone, en ordo.

Tarookazya: Mi ordonis al vi alporti sakeon. (batas S-ron X)

Mastro: Ho, ve! Certe dolore!

Tarookazya: Ho, ve! Certe dolore!

S-ro X: Bone, en ordo.

Mastro: Mi ordonis al vi alporti sakeon. (pinĉas oreilon)

Tarookazya: Mi ordonis al vi alporti sakeon. (pinĉas la oreilon de S-ro X)

Mastro: Ho, ve! Certe doloras orelo!

Tarookazya: Ho, ve! Certe doloras orelo!

S-ro X: Bone, en ordo.

Mastro: Kia sentaŭgulo vi estas! Aĉe vi imitas kaj hontigas min! Mi devas puni malbonan serviston! (ronde for-svingas kaj faligas Tarookazya)

Bonvolu atendi kviete. Mi alportos sakeon por vi. (foriras)

S-ro X: Bone, en ordo.

Tarookazya ekstaras kaj imitas Mastron per vortoj kaj agoj.

S-ro X: Bone, en ordo. (foriras) (fino)

例会等の出席者(あいうえお順)

クラス	輪読・会話 Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto	出席者合計
月/日 会場	Claude Piron の短編集 "Vere aŭ Fantazie" 輪読	
2012年 10/22(月) 公民館	高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子	☀ 3
10/29(月)	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子	☀ 4
11/5(月)	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子	☀ 4
11/12(月)	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子 "Vere aŭ Fantazie" の輪読次回 11月19日は第14話 Leona Sukceso の "Ĉu vere?" la ĉefo diris. から	☀ 4

例会予定 2012年 11月 5、12、19、23(金・祝)南 12月3公、(10)、17北、(24、31)
※3月までは月曜日(月2回)で行こうと思います。

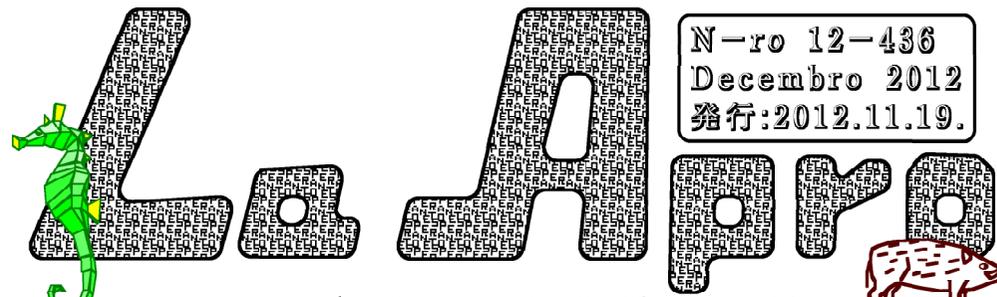
2013年 1月 7*、(14)、21*、(28)、2月 4*、(11)、18*、(25)、3月 4*、(11)、18*、(25)、
※4月から土曜日午後1時~3時(月2回)で組んでみました。変更可。ご意見ください。
4月 (6)、13*、(20)、27*、5月 (4)、11*、(18)、25*、6月 (1)、8*、(15)、22*、(29)、
7月 6*、(13)、20*、(27)、8月 3*、(10)、(17)、24*、(31)、9月 7*、(14)、(21)、28*、
10月 (5)、12*、(19)、26*、11月 (2)、9*、16*、(23)、30*、12月 7*、(14)、21*、(28)

*は会場未定。北・南は池田駅前北会館南会館。小さい数字はお休みです。
中央公民館工事中の2013年1月~2014年3月は駅前会館を交互に借りるつもりです。2014年4月公民館再開予定

行事予定 2012年 11月2日(金)~4日(日) IKEDA文化DAY(コミュニティーセンター)

11月5日(月)「国際語エスペラント一日体験」、17日(土) KLEG委員会
11月23(金祝) 1時半駅前南会館2号室月例会(冬の季語で俳句、狂言『口真似』練習)
12月9日(日) ザメンホフ祭 とよなか国際交流センター(豊中駅前エトレ豊中6階,1時半)
中央公民館工事: 利用最終日12月3日(月), 工事期間2013年1月~2014年3月, 4月再開予定
12月28~30日(金土日) 第31回Komuna Seminario(青年合宿,高尾の森わくわくビレッジ)
2013年 1月19日(土) KLEG委員会
3月16日(土) KLEG委員会 3月30日(土) KLEG棚卸し 4月20日(土) KLEG委員会
4月18日~22日(木金土日) 第7回アジア大会(イスラエル・エルサレム)
5月25日~26日(土日) 第61回関西エスペラント大会(和歌山市民会館市民ホール)
7月20日~27日(土~土) 第98回世界エスペラント大会(アイスランド・レイキャビク)
10月12日~15日(土日月火) 第100回日本大会(東京都江戸川区, タワーホール船堀)
2014年

第99回世界エスペラント大会はアルゼンチンの首都ブエノスアイレス
第101回日本エスペラント大会は福井県小浜市

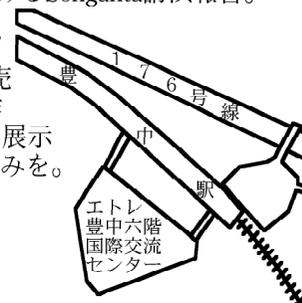


N-ro 12-436
Decembro 2012
発行:2012.11.19.

La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA
池田エスペラント会 〒563-0021池田市畑1-2-16島谷方 振替:00930-5-34655

★北摂ザメンホフ祭

- ・期日: 12月9日(日) 1時半から5時・会費500。
- ・会場: とよなか国際交流センター(豊中駅前のエトレ豊中6階)
- ・池田の狂言は「口真似 Imito」。
- ・吹田: 吹田文化祭における Songanta 講演報告。
- ・KLEG60周年記念事業『木星』のエスペラント歌詞公募
にちなみ♪ABCの歌・♪ホルスト木星 "Jupitero, steljuvel!"
を Vokalojido 初音ミクに引きずられて歌う・図書紹介・販売
- ・EUのKER検定(北摂からは2名B2合格)その意義と来年勧誘
- ・初のE登場少女マンガ「僕らは楽園で結ばれる」→壁面に展示
- 懇親会(希望者)もエトレ4階で会費4000~5000円。事前申込みを。



★冬の季語で俳句の会

- ・期日: 11月23日(金・祝) 1時半から4時
- ・会場: 駅前南会館
エスペラント俳句の他に狂言「くちまね」の練習もします(2頁に台本再掲)

★冬の季語: 冬至 vintra solstico, クリスマス kristonasko, 師走/年の暮/年の瀬 jarfinaj tagoj, 大晦日 jarfina tago; silvestro, 除夜 jarfina nokto, 除夜の鐘 sonorado de~, 大寒 granda frosto, 短日 mallongas tago, 霜夜 prujna / frosta nokto, 寒波 frosto, 節分 lasta tago de vintro, 寒月 frosta luno, 風/木枯/北風 frosta vento, 霰 grajlo; hajleto, 霰 neĝpluvo, 霜 prujno, 雪 neĝo, 雪女 neĝulino, 吹雪 neĝoŝtormo, 雪原 neĝkampo, 枯野 morta kampo, ボーナスコロムsalajro, 煤払ĝenarala purigo, 第九naŭa simfonio de Beethoven, 忘年会 jarfina bankedo, 晦日 蕎麦 jarfina fagopirajo, 膝掛 genuŝirmilo, セーター ĵerzo, オーバー palto, 襟巻 koltuko, 手袋 gantoj, 餅 moĉio; rizkuko, 雪掻 forigi neĝon, ストーフ fajrujo; forno, スキー skii, スケート sketi, 風邪 malvarmumo, 日向ぼこ sunumi sin, 豆撒 demonekzorco ĉe secubuno, 鬼は外 For la demonoj!, 熊urso, 冬眠 vintrodormi, 狸 niktoreŭto, 狼 lupo, 鼯 mustelo, むささび flugsciuro, 兎 leporo; kuniklo, 鯨 男魚 baleno, 鷹 akcipitro, 鷹狩 falkeĉaso, 鴨 sovaĝanaso, 白鳥 cigno, 鮭 tinuso, 鰯 seriolo, 鮫 鯨lofio, 河豚 tetrodono; balonfiŝo, 鯛 frombo; platfiŝo, 海鼠 holoturio; markolbaso, 牡蛎 ostro, 山茶花 sazanko, 蜜柑 mandarino; orangō, 枇杷の花 floras eriobotrio, 枯葉 velkintaj/mortintaj/falinta folio, 枯木 ~a arbo, 葉牡丹 ornama brasiko, 白菜 ĉina/pekina brasiko, ブロccoli brokolo, 葱 tubfolia ajlo, 大根 rafano, 人參 karoto, 竜の玉(蛇の髯(ofiopogono=drakbarbo)の実) frukto de ~, 年賀状 novjara salutkarto, お年玉 novjara donaco, 獅子舞 leonmaska danco, 初詣 unua vizito al sanktejo



口真似

大蔵虎寛本 能狂言
人物: 主、客、太郎冠者

主「是は此當りに住居致す者で御さる。去方より、よい酒をもらふて御さるが、誰ぞ心安い御方と、たべとう御さる。先ず太郎冠者を呼びだし、相談致そうと存ずる。太郎冠者、おるか。」

太郎冠者「はああ、お前に。」

主「そちを呼び出すこと、別なる事でもない。さる方より良い酒を貰うたが、誰ぞ心易い御方と飲みたいものじゃが誰殿がよかろうぞ。」

太郎冠者「心安い者ならば、誰かれと仰せらるより、私と呑ませられい。」

主「いかに心安いというて、汝と呑んで何の面白いことがあるものじゃ。汝、分別して呼まして来い。」

太郎冠者「畏まって御さる。」

主「早う戻れ。」

太郎冠者「心得ました。」

主「エイ。」

太郎冠者「ハア。是はいかな事。むつかしい事を仰せ付けられた。誰殿へ参ろう。イヤ、下の町の誰殿を呼びまして参ろう。先ず急いで参ろう。斯う参っても、御宿に御ざれば、よう御さるが、若し御宿に御ざらぬ時は、参ったせんも無い事で御さる。イヤ、参る程にはじゃ。先ず案内を乞おう。物まう案内まう。御内にござりまするか。」

誰殿「いや表に物まうとある。案内とは誰ぞ物まうとは。」

太郎冠者「私で御さる。」

誰殿「エイ太郎冠者、(中略)今は何と思ふておりやったぞ。」

太郎冠者「頼んだ者申します。去かたよりよい酒を貰ふて御さるに依りて、御出でなされて、一つ召し上がられて下さるうならば、忝のう御さる、と申しこしまして御さる。」(中略)

誰殿「其儀成らばいても遣らふか。」

太郎冠者「さあ〃御ざれ〃。」(中略)

誰殿「参る〃。」(中略)

太郎冠者「今少しで御さる。いそがせられい」

誰殿「心得た。」

太郎冠者「申し頼んだ人、御座りまするか。太郎冠者が戻りまして御さる。」(中略)

主「やれ〃大儀や。扱誰殿を呼まして来たぞ。」



Imito

Tradukis, Simatani takesi 2012
el "NooKyoogen" de Ookura Torahiro

Mastro: Mi estas loĝanto en ĉi tiu loko. Mia amiko donis al mi bonan sakeon. Mi volas festeni kun iu familiara. Tarookazyza proponu bonan sinjoron... Kie estas Tarookazyza?!

Tarookazyza: Jen, antaŭ vi!

Mastro: Mi vokis vin por konsulti. Mia amiko donis al mi bonan sakeon. Mi volas festeni kun iu familiara. Kiun vi proponas por kunfesteni?

Tarookazyza: Mi, Tarookazyza estas la plej familiara por vi! Mi festenos kun vi.

Mastro: Kvankam familiara, vi ne estos amuza trinkanto. Iru kaj invitu iun taŭgan sinjoron.

Tarookazyza: Laŭ via ordono!

Mastro: Revenu plej baldaŭ.

Tarookazyza: Mi rapidos!

Mastro: Jam iru! Ek!

Tarookazyza: Jen! ... Ho, ve, malfacilan taskon mi havas. Kiun sinjoron mi invitu por li? Ha, mi vizitu S-ron ()! Mi rapidu al li. Mi esperas, ke mi trafos lin hejme. Se li estos for, mia peno estos vana... Ha, mi jam staras antaŭ lia domo. Hej, Sinjoro! Saluton, Sinjoro! Ĉu vi estas hejme?

S-ro X: Oni vokas min de-ekstere. Kiu bonvolas viziti min?

Tarookazyza: Jen mi, Sinjoro!

S-ro X: Hej, Tarookazyza, pro kio vi vizitis min?

Tarookazyza: Mia mastro sendis min por inviti vin. Hodiaŭ li havas tre bonan sakeon. Li volas havi vian favoron, ke vi bonvolu viziti lin kaj kunfestenu kun li en ĉi tiu vespero.

S-ro X: Bone. Mi venos.

Tarookazyza: Venu, venu, sinjoro!

S-ro X: Bone. Mi venos.

Tarookazyza: Proksimas la domo. Volu veni, sinjoro.

S-ro X: Bone. Mi venos...

Tarookazyza: Hej, Sinjoro! Ĉu vi estas hejme? Revenis Tarookazyza!

Mastro: Dankon, Tarookazyza! Kun kiu sinjoro vi revenis?

太郎冠者「下の町の誰殿を呼ぶで参りました。」(中略)

主「あの人はずっと目恥かしい人で、あの人の前で遣はふ者がない。」

太郎冠者「それこそ私が能う御座らう。」

主「おのれが様な腰の高い者が何のやくに立つものか。(中略)さりながら誰かれというふて、外に人も無いところで、何事も、それがしがいふ様、する様に、口真似をせい。」

太郎冠者「畏て御さる。」

主「斯う御通りなされいと云へ。」

太郎冠者「心得ました。斯う御通りなされいと申します。」

誰殿「通ふか。」

太郎冠者「つゝと通らせられい。」

誰殿「心得た。不案内で御さる。」

主「初対面で御さる。」

誰殿「今日は召寄られて忝のう御さる。」

主「太郎冠者を進じましたに、早速御出でなされて忝のう御さる。」

誰殿「ハア。」

主「太郎冠者、御盃をだせ。」

太郎冠者「太郎冠者、御盃をだせ。」

主「ヤイ御盃を出せとはおのれが事じゃ」

太「ヤイ御盃を出せとはおのれが事じゃ」

主「ヤイ、こちへ来い。」

太郎冠者「何事で御さる。」

主「あなたはお客じゃ。御盃を出せとはおのれに云い付くることじゃ(叩く)」

太郎冠者「ヤイ、こちへ来い。」

誰殿「何事じゃ。」

太郎冠者「御盃を出せとはおのれに云い付くることじゃ(誰殿を叩く)」

主「アゝ、お肩が痛みましょう。」

太郎冠者「アゝ、お肩が痛みましょう。」

誰殿「左様にも御ざらぬ。」(中略)

主「御盃を出せとはおのれに云い付くることじゃ(耳を引く)」

太郎冠者「御盃を出せとはおのれに云い付くることじゃ(誰殿の耳を引く)。」

主「アゝ、お耳が痛みましょう。」

太郎冠者「アゝ、お耳が痛みましょう。」

誰殿「左様にも御ざらぬ。」

主「やあら、おのれは憎いやつもの。口真似をせいと云へば主に恥をかゝせおる。おのれが様なやつは、まっ斯うして置いたがよい。(引き回して、つき倒す)(誰殿へ)夫れにゆるりと御ざれ。追っ付け盃を出しませう。」(主退場)

誰殿「構はせらるゝな。」

太郎冠者 起きて口真似をし、誰殿を引き回してつき倒す。口真似をし退場

誰殿「構はせらるゝな」(起き退場) (終)

Tarookazyza: Kun S-ro () mi revenis.

Mastro: Ha, li estas plej postulema! Neniu bone servos al li.

Tarookazyza: Mi mem servos al li.

Mastro: Vi, arogantulo certe ofendos lin! Mi tamen ne havas alian serviston ol Tarookazyza. Bone, mi havas bonan Ideon. Vi imitu ĉiun mian vorton aŭ agon.

Tarookazyza: Laŭ via ordono. Mi imitos.

Mastro: Diru: Bonvolu enveni, mi petas.

Tarookazyza: Mi diros al la sinjoro: Bonvolu enveni, mi petas.

S-ro X: Bone?

Tarookazyza: Bonvolu enveni, mi petas.

S-ro X: Bone!.. (al Mastro) Saluton!

Mastro: Bonvenon S-ro ().

S-ro X: Mi dankas vin.

Mastro: Mi sendis Tarookazyza por inviti vin. Mi dankas, ke vi venis.

S-ro X: En ordo.

Mastro: Tarookazyza, alportu sakeon!

Tarookazyza: Tarookazyza, alportu sakeon!

Mastro: Hej, vi mem devas alporti sakeon!

Taroo.: Hej, vi mem devas alporti sakeon!

Mastro: Hej, venu ĉi tien.

Tarookazyza: Kio okazis, Sinjoro?

Mastro: Li estas gasto. Mi ordonis al vi alporti sakeon. (batas lin)

Tarookazyza: Hej, venu ĉi tien.

S-ro X: Bone, en ordo.

Tarookazyza: Mi ordonis al vi alporti sakeon. (batas S-ron X)

Mastro: Ho, ve! Certe dolore!

Tarookazyza: Ho, ve! Certe dolore!

S-ro X: Bone, en ordo.

Mastro: Mi ordonis al vi alporti sakeon. (pinĉas oreilon)

Tarookazyza: Mi ordonis al vi alporti sakeon. (pinĉas la oreilon de S-ro X)

Mastro: Ho, ve! Certe doloras orelo!

Tarookazyza: Ho, ve! Certe doloras orelo!

S-ro X: Bone, en ordo.

Mastro: Kia sentaŭgulo vi estas! Aĉe vi imitas kaj hontigas min! Mi devas puni malbonan serviston! (ronde for-svingas kaj faligas Tarookazyza)

Bonvolu atendi kviete. Mi alportos sakeon por vi. (foriras)

S-ro X: Bone, en ordo.

Tarookazyza ekstaras kaj imitas Mastron per vortoj kaj agoj.

S-ro X: Bone, en ordo. (foriras) (fino)